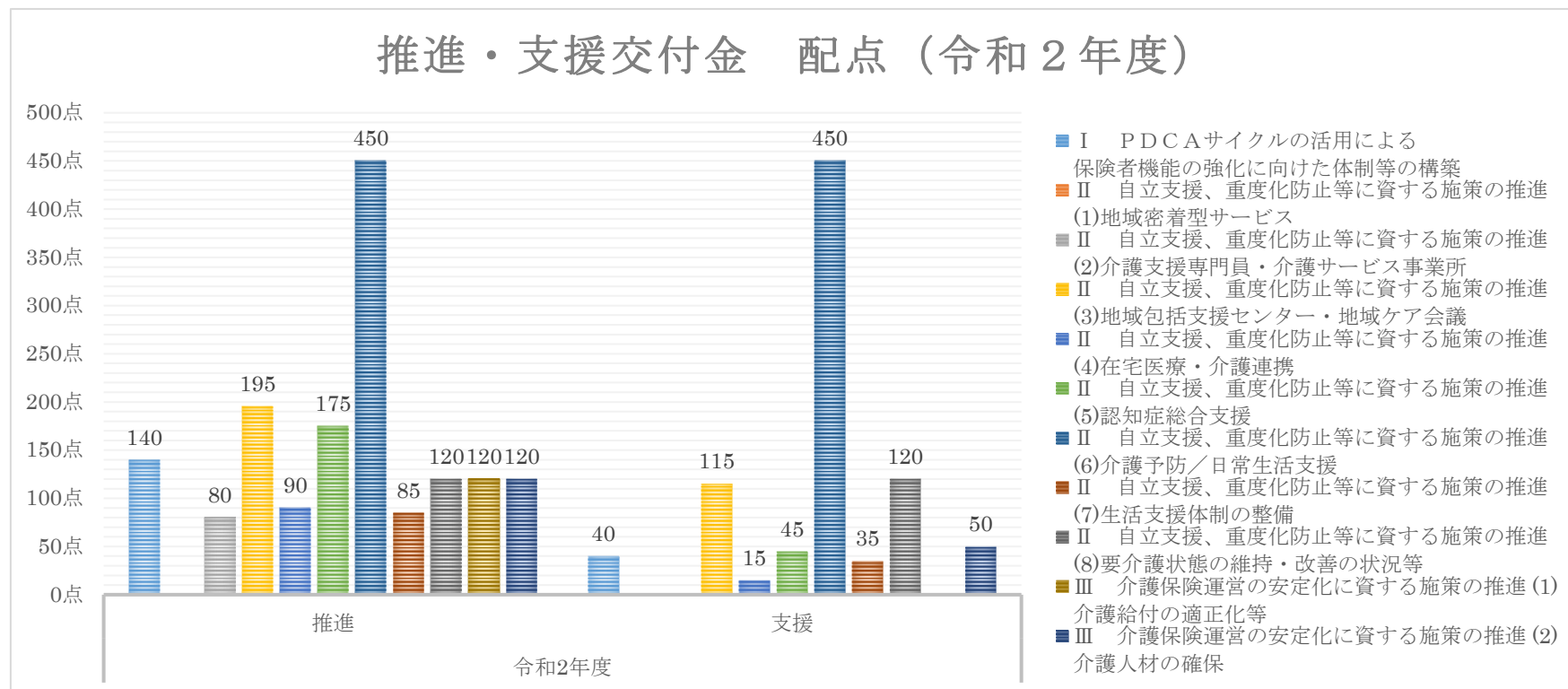


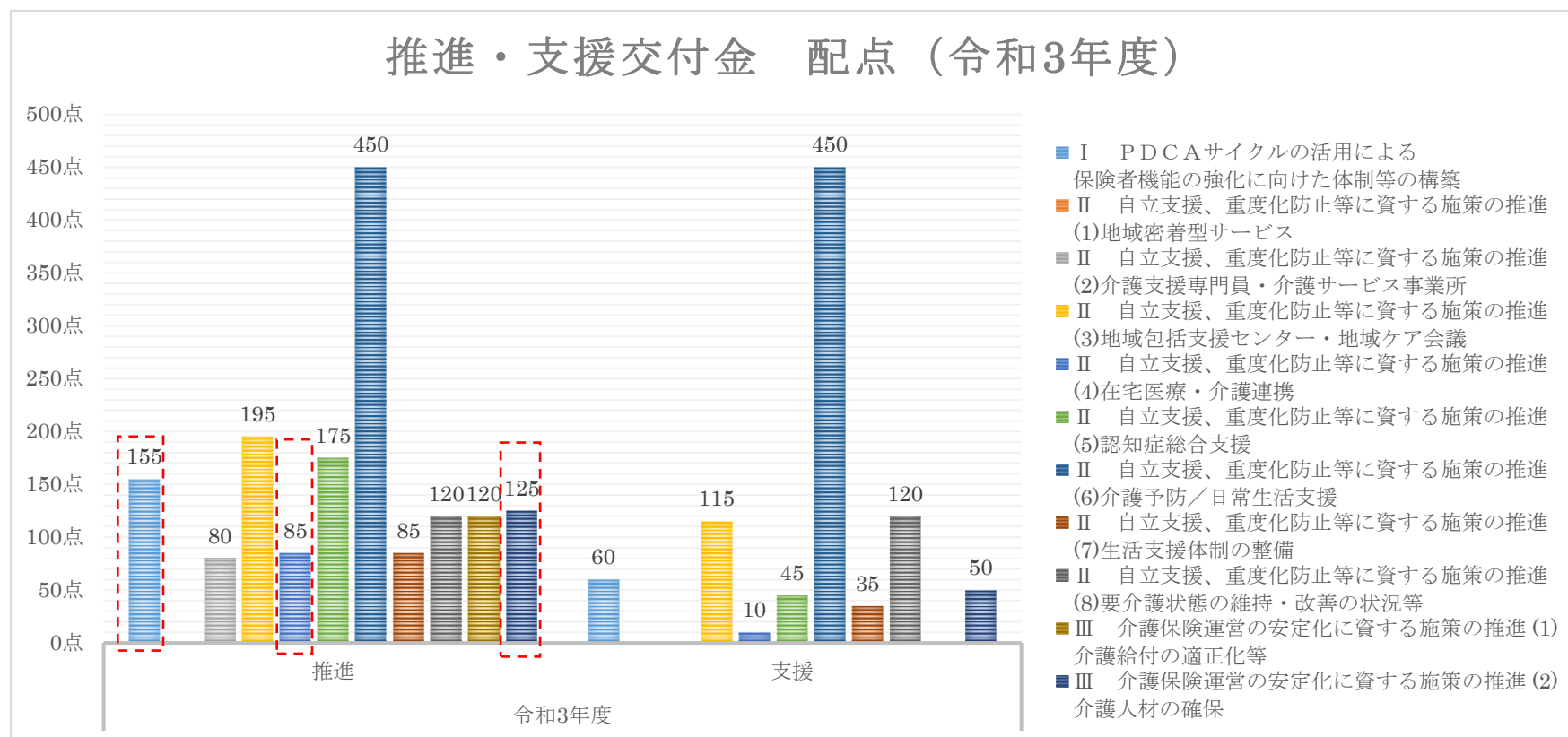
保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金について

1 評価指標（配点）

令和2年度、令和3年度及び令和4年度の保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金（以下「推進・支援交付金」という。）に係る各指標の配点をグラフ化したものです。

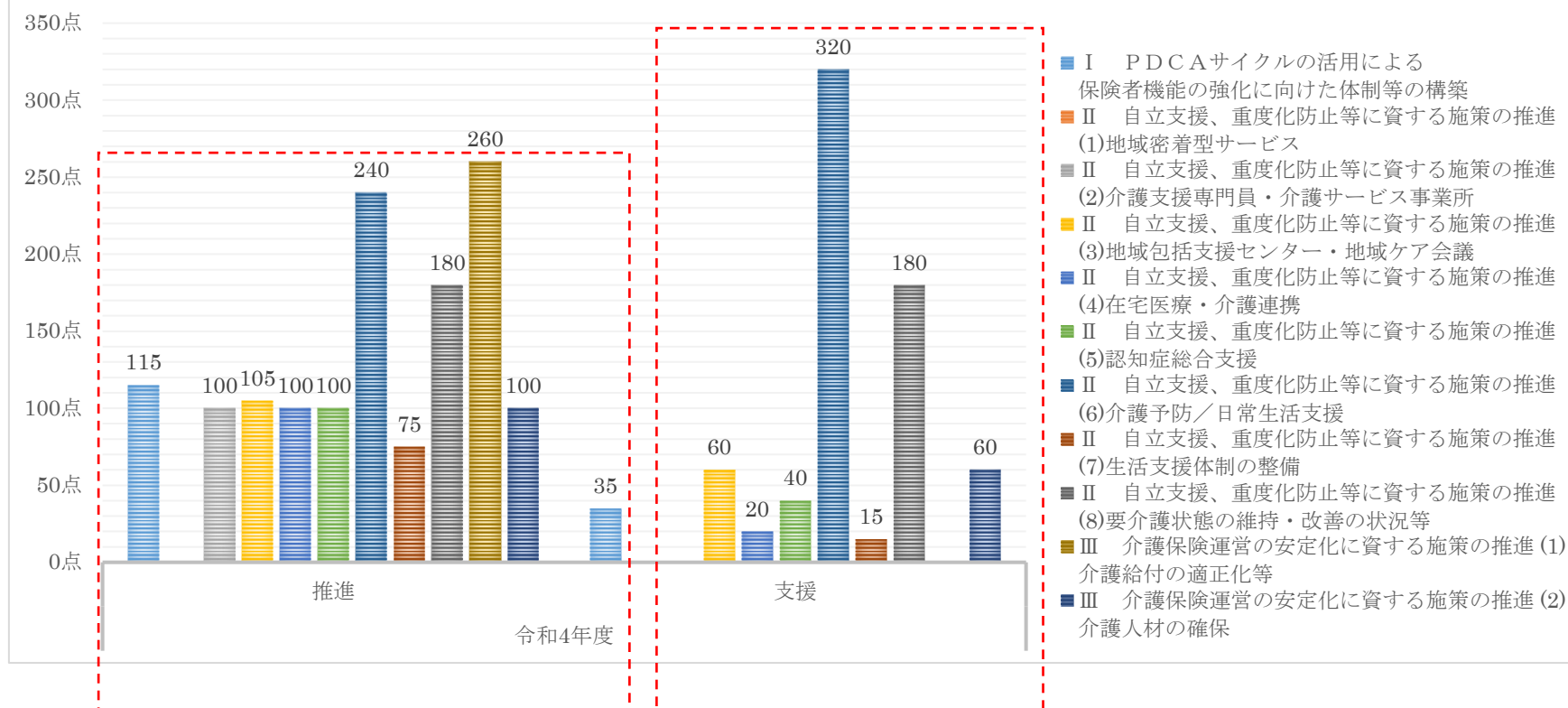
令和4年度は、前年度と比べ、推進交付金及び支援交付金の指標Ⅲの配点割合が高くし、推進交付金及び支援交付金の指標Ⅱの配点割合を低くするなどの見直しを行われています。

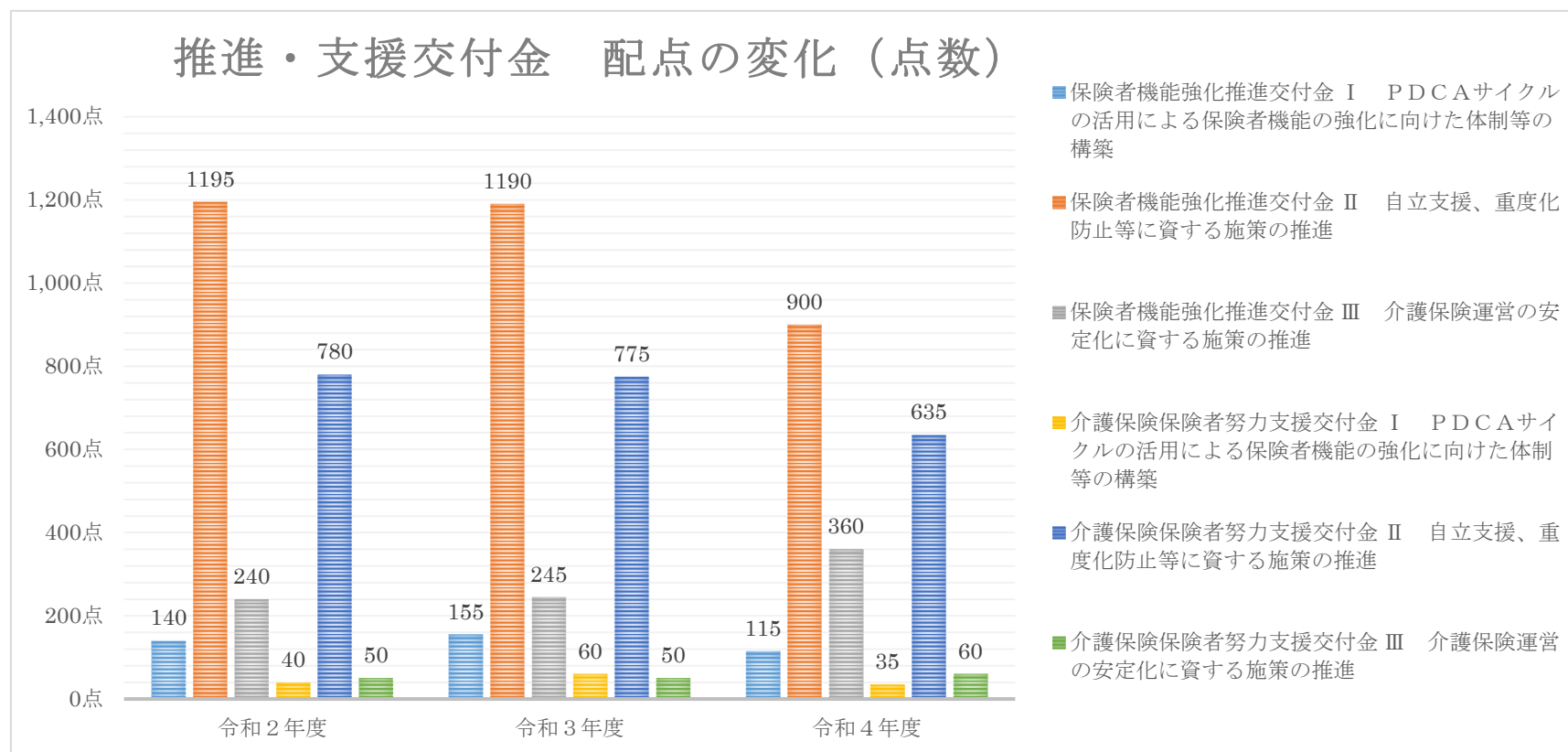


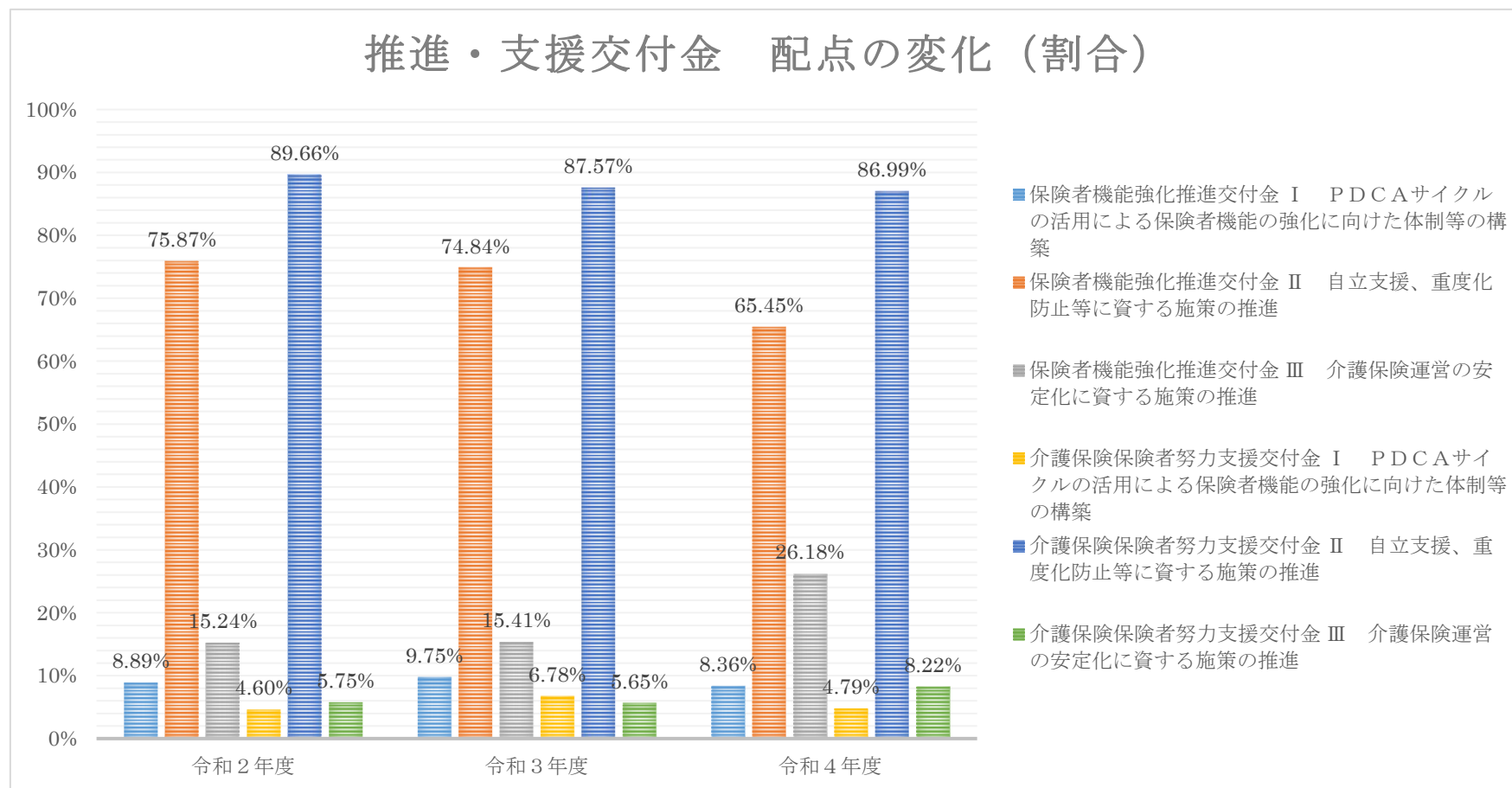


注) は、前年度と比較して、配点が変わったものです。

推進・支援交付金 配点（令和4年度）







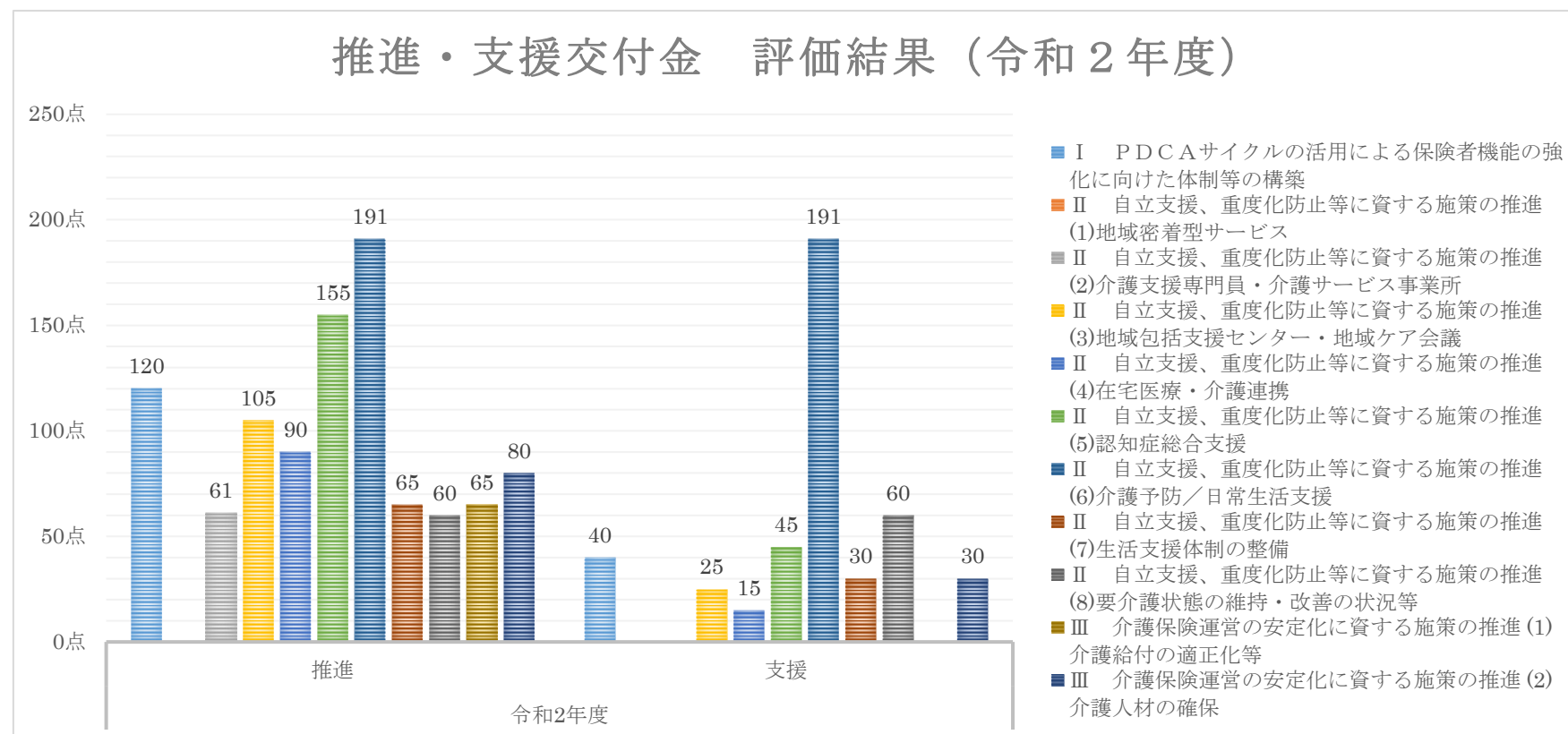
注) 推進交付金、支援交付金それぞれの指標について、各年度別の配点割合をグラフ化したものです。

2 評価結果

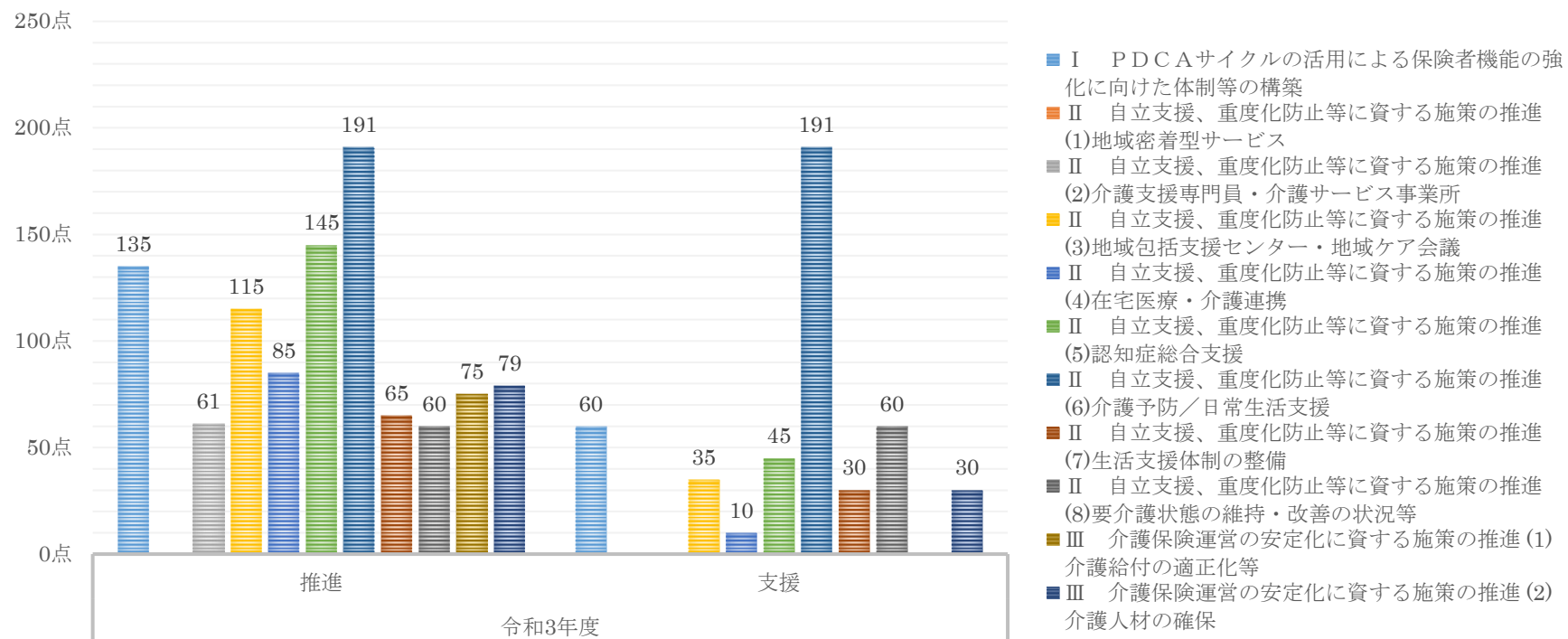
令和2年度、令和3年度及び令和4年度の推進・支援交付金に係る各指標の得点をグラフ化したものです。

令和3年度は、推進交付金のⅡ 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進について得点を下げっていますが、概ね改善されています。

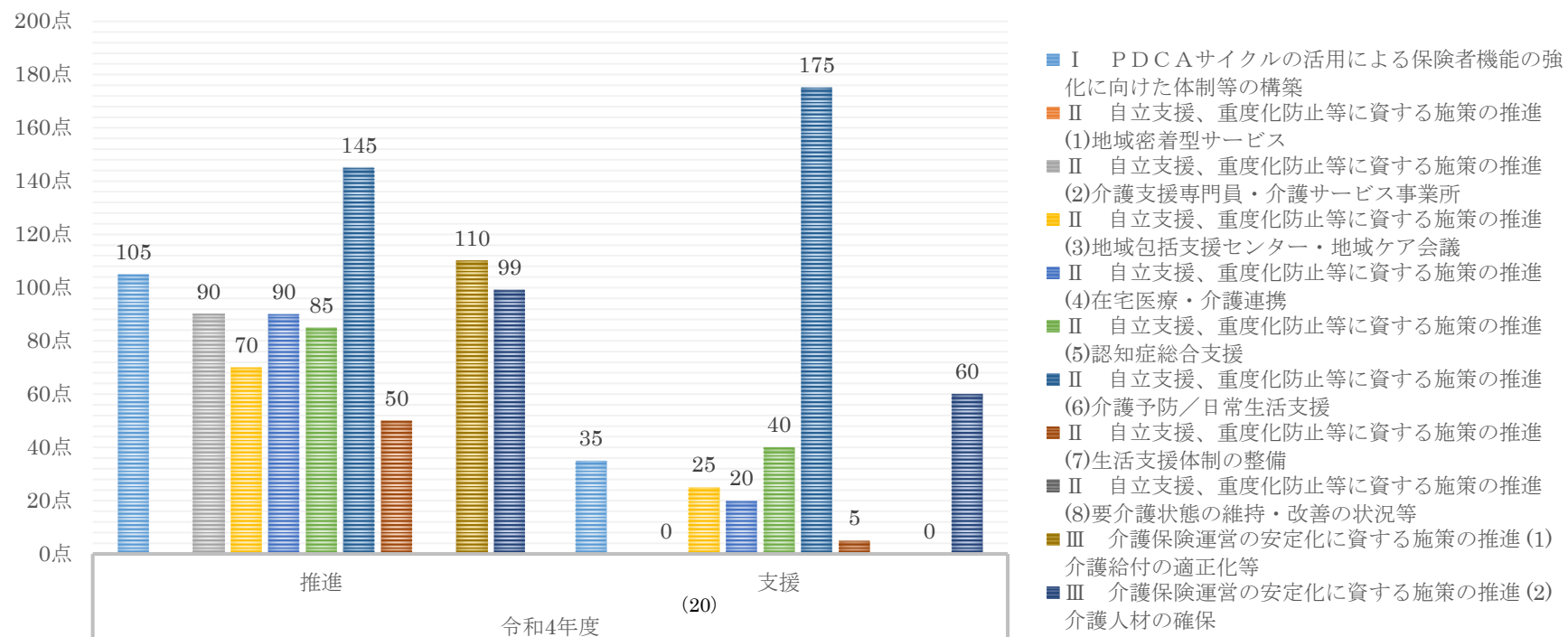
なお、令和4年度の評価結果は、統計データを使用する項目を0点としていますので、この結果に統計データを使用する項目の加点が追加されます。

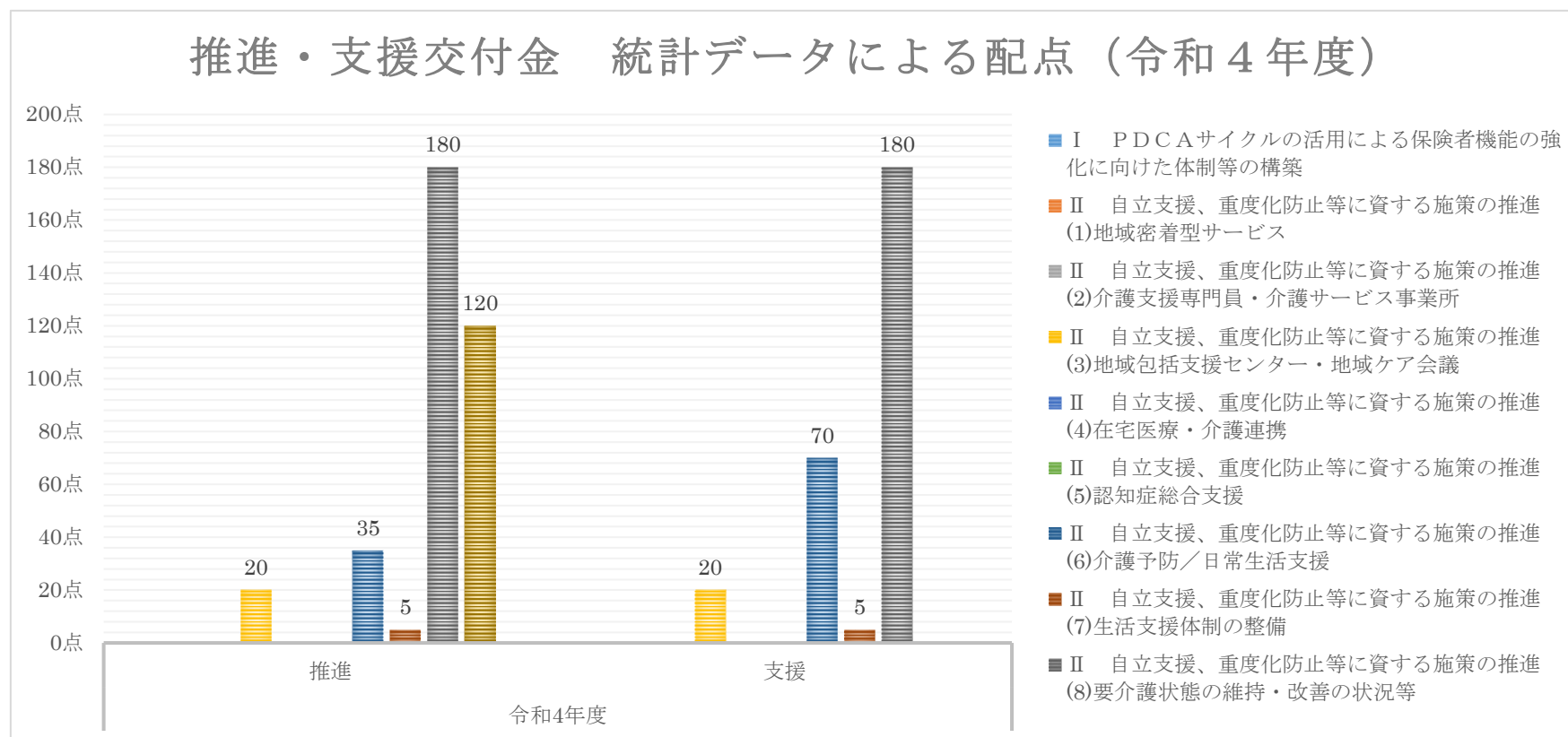


推進・支援交付金 評価結果（令和3年度）

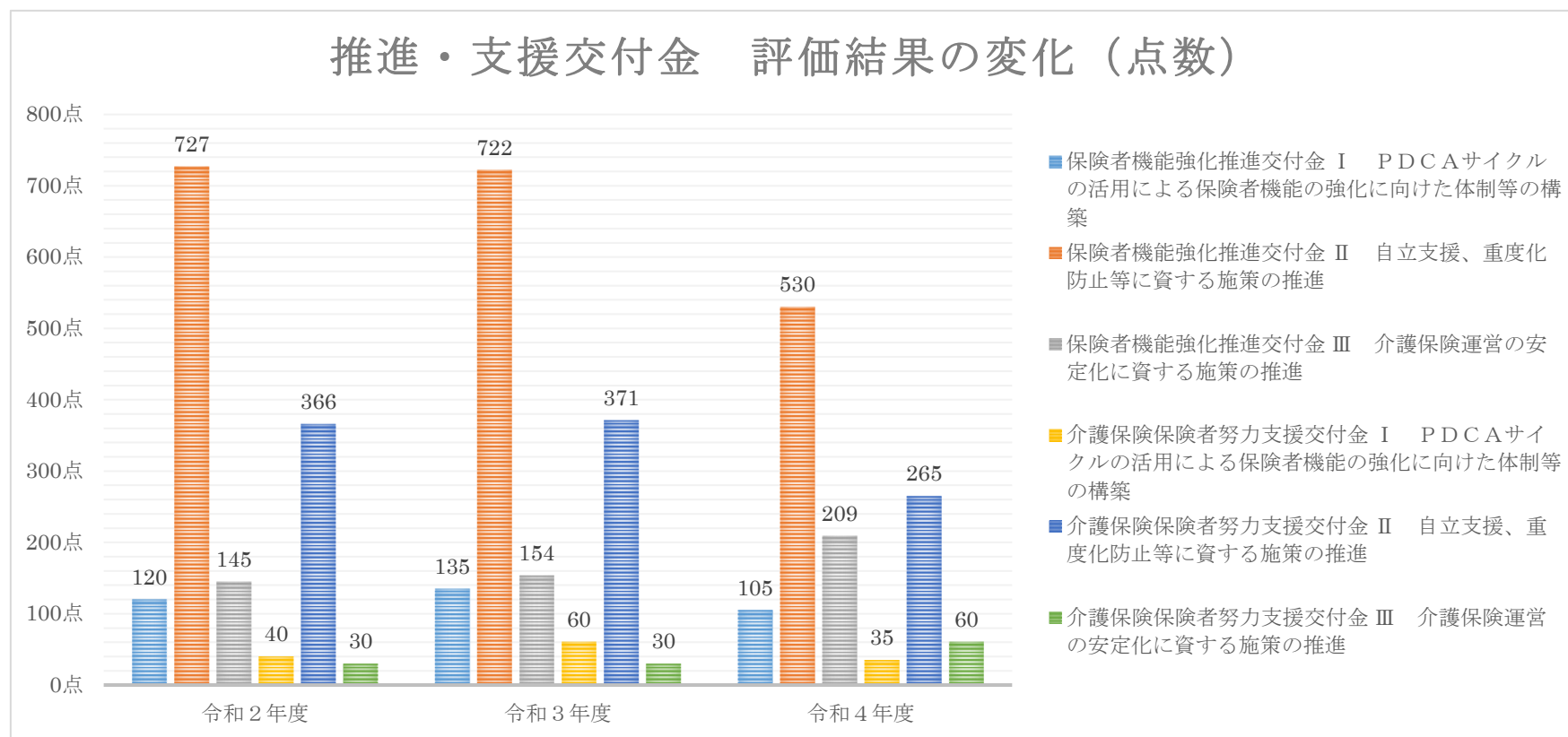


推進・支援交付金 評価結果（令和4年度）



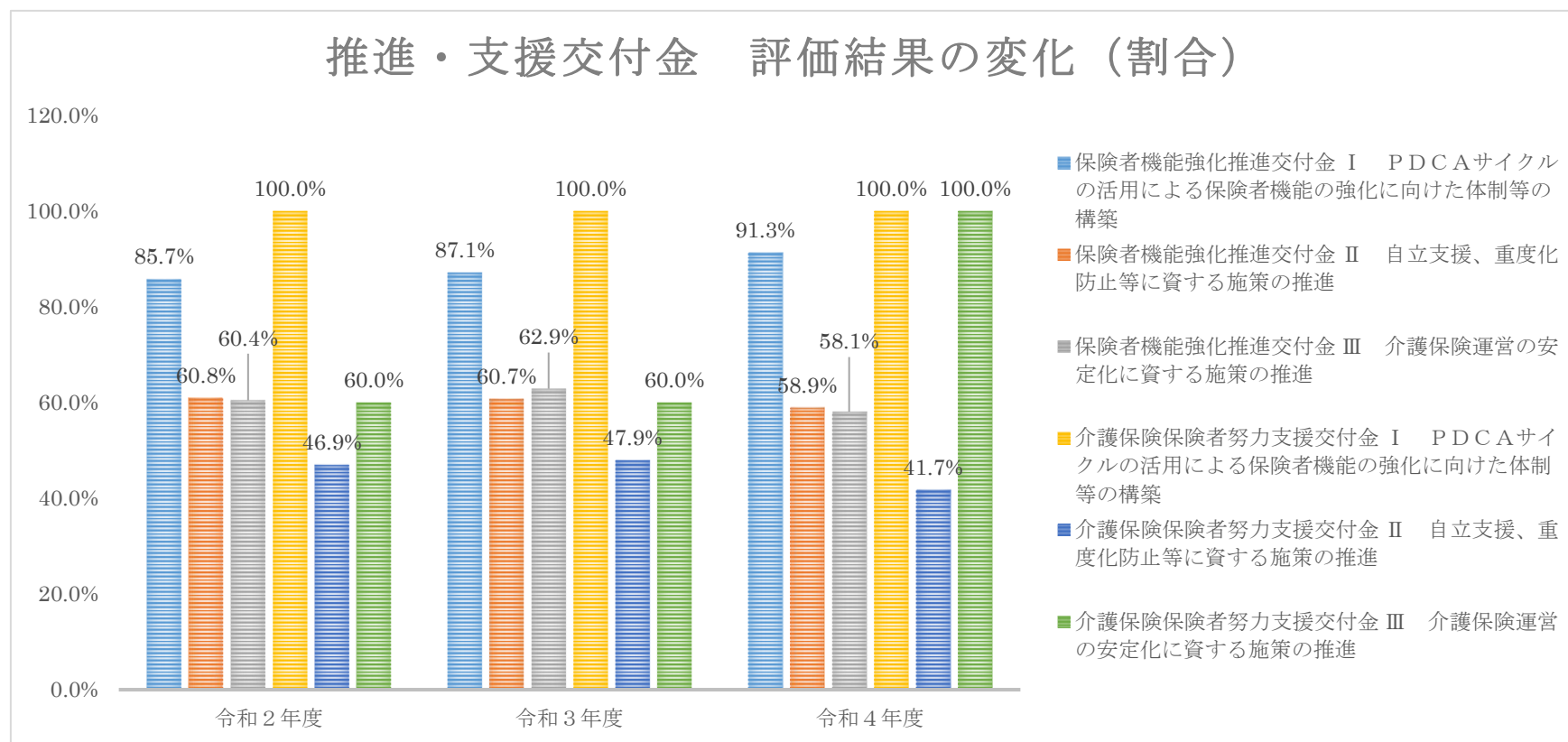


注) 統計データの結果により、令和4年度の評価結果に上記点数が加点されます。



注) 令和 4 年度の評価結果のうち、統計データを使用する項目については、0 点としています。

- ・ 保険者機能強化推進交付金 II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進 2 4 0 点
- ・ 保険者機能強化推進交付金 III 介護保険運営の安定化に資する施策の推進 1 2 0 点
- ・ 介護保険保険者努力支援交付金 II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進 2 7 5 点

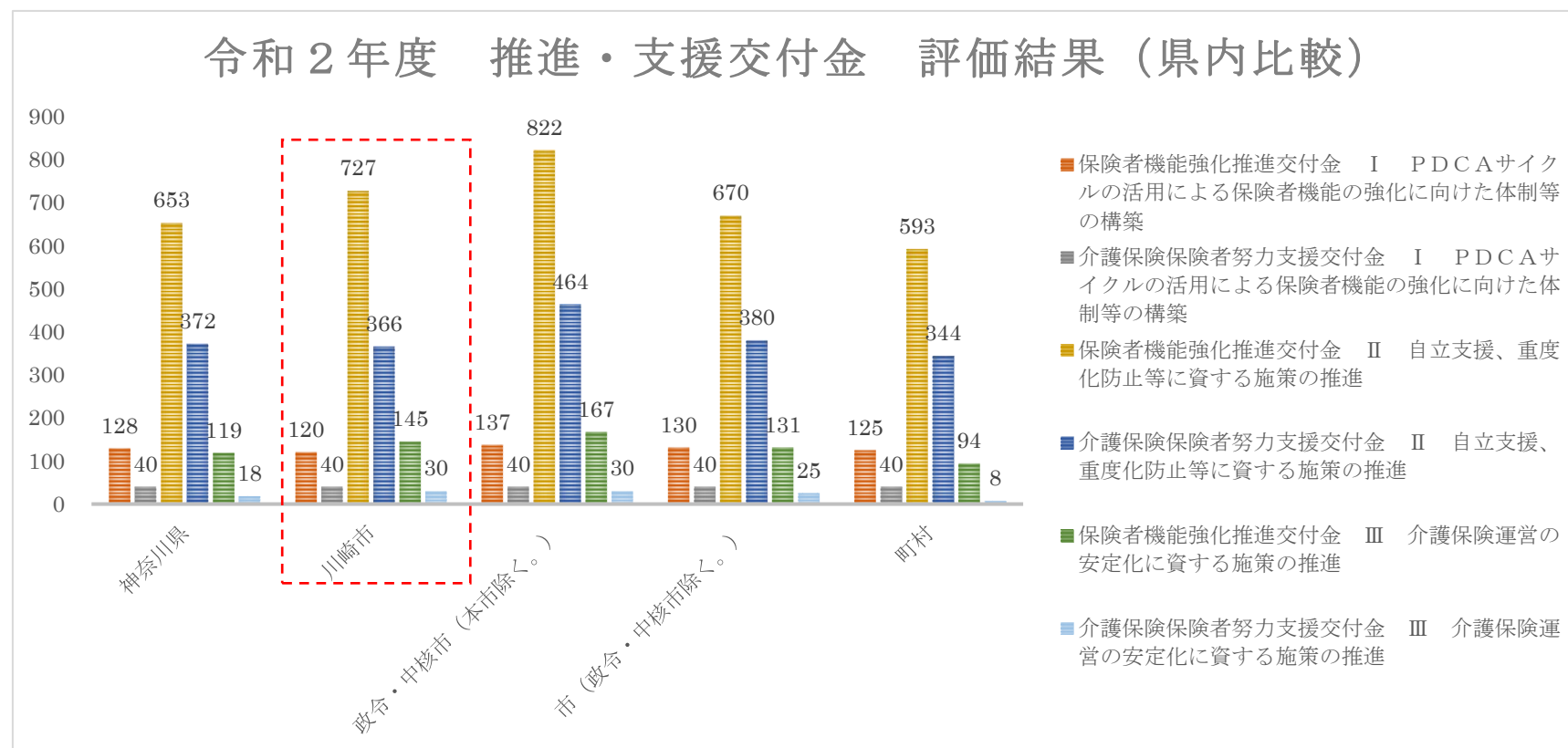


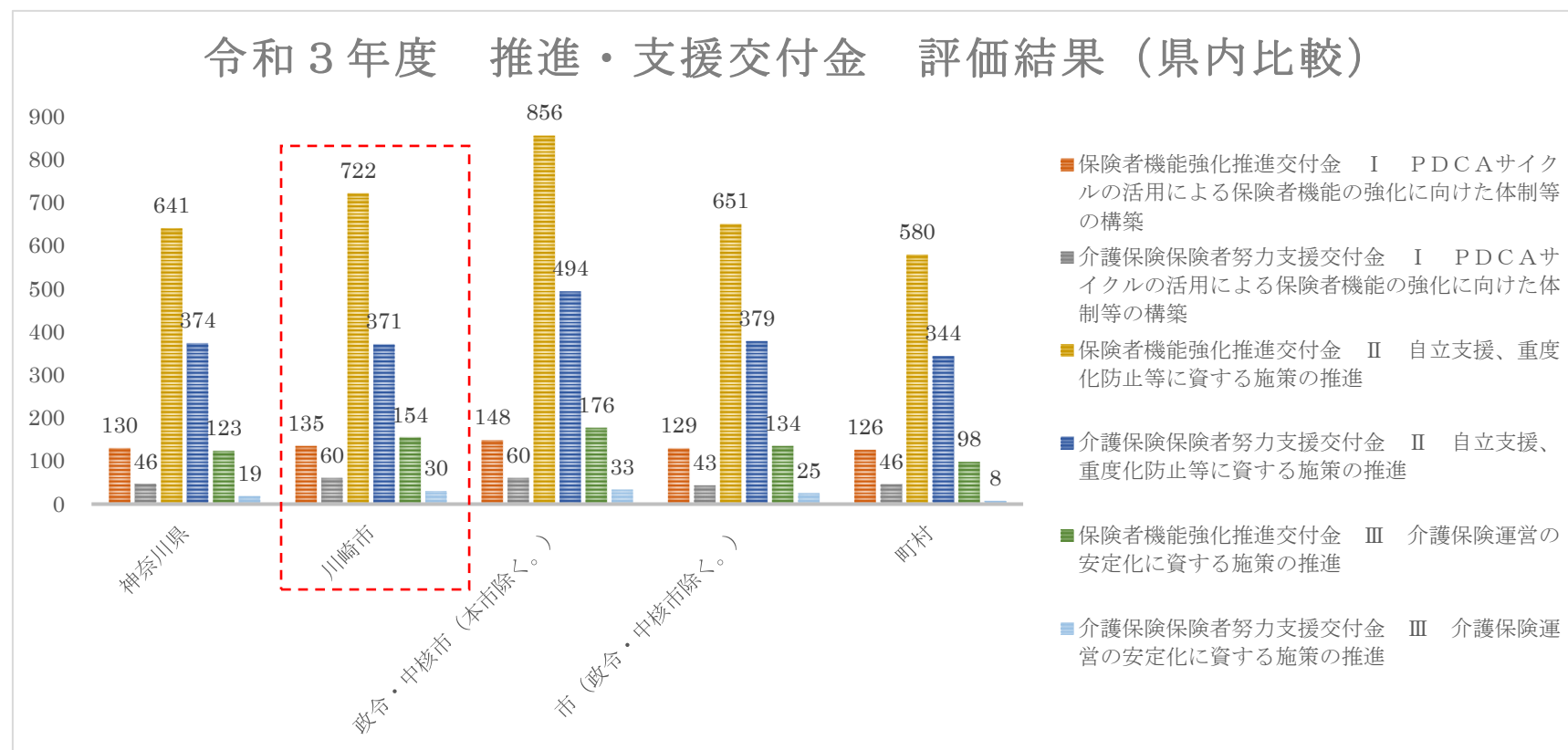
注) 令和4年度の評価結果は、統計データを使用する項目の点数を含んでおりません。
統計データを使用する項目の点数が加わりますと、割合が異なります。

3 他自治体との比較

神奈川県内の令和2年度及び令和3年度の推進・支援交付金に係る各指標の得点をグラフ化したものです。

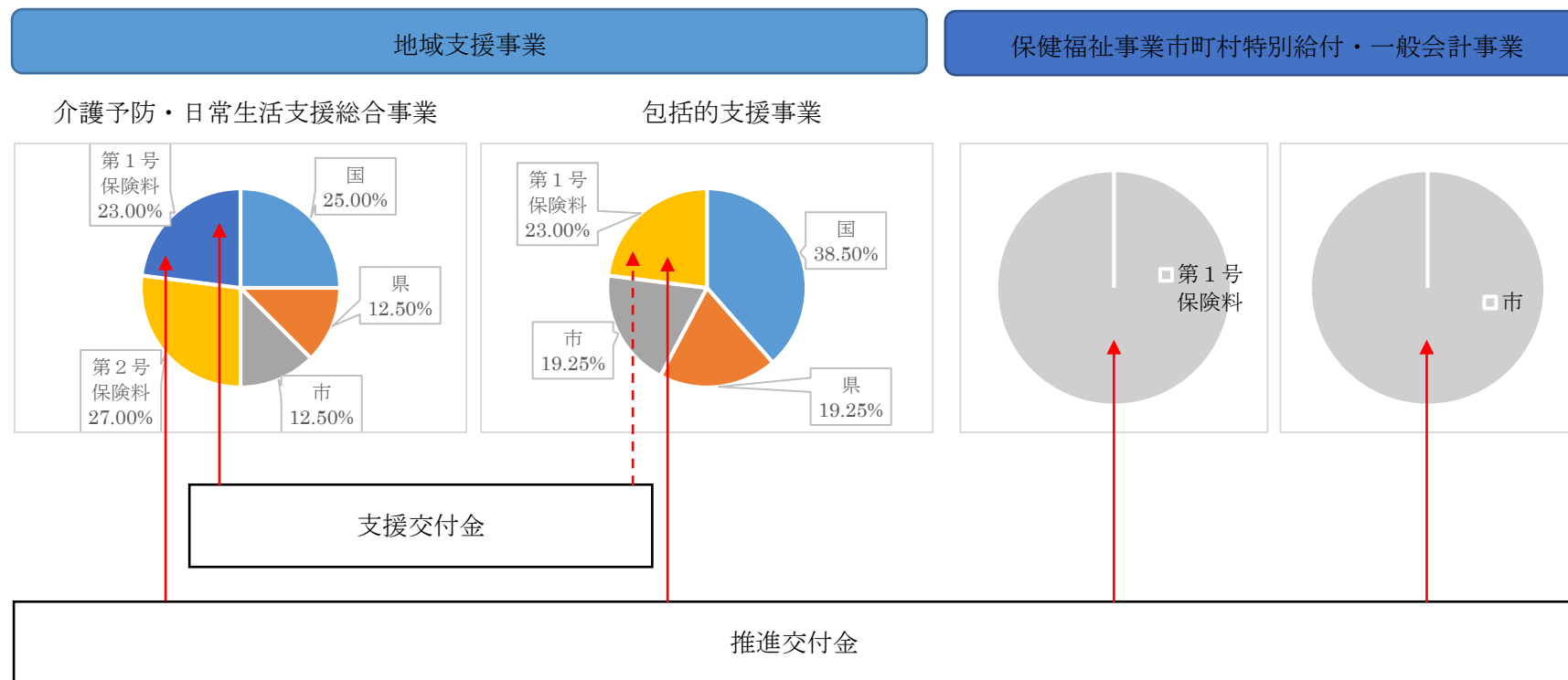
本市は、介護保険保険者努力支援交付金 II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進の得点を除き、県内平均を上回っていますが、県内の他政令・中核市と比較しますと、令和2年度は推進交付金の3指標、支援交付金の1指標が、令和3年度は推進交付金の3指標、支援交付金の2指標の得点が下回っています。令和4年度は令和3年中に国から評価結果・交付見込額が提示される予定です。





4 その他

(1) 推進・支援交付金の仕組み



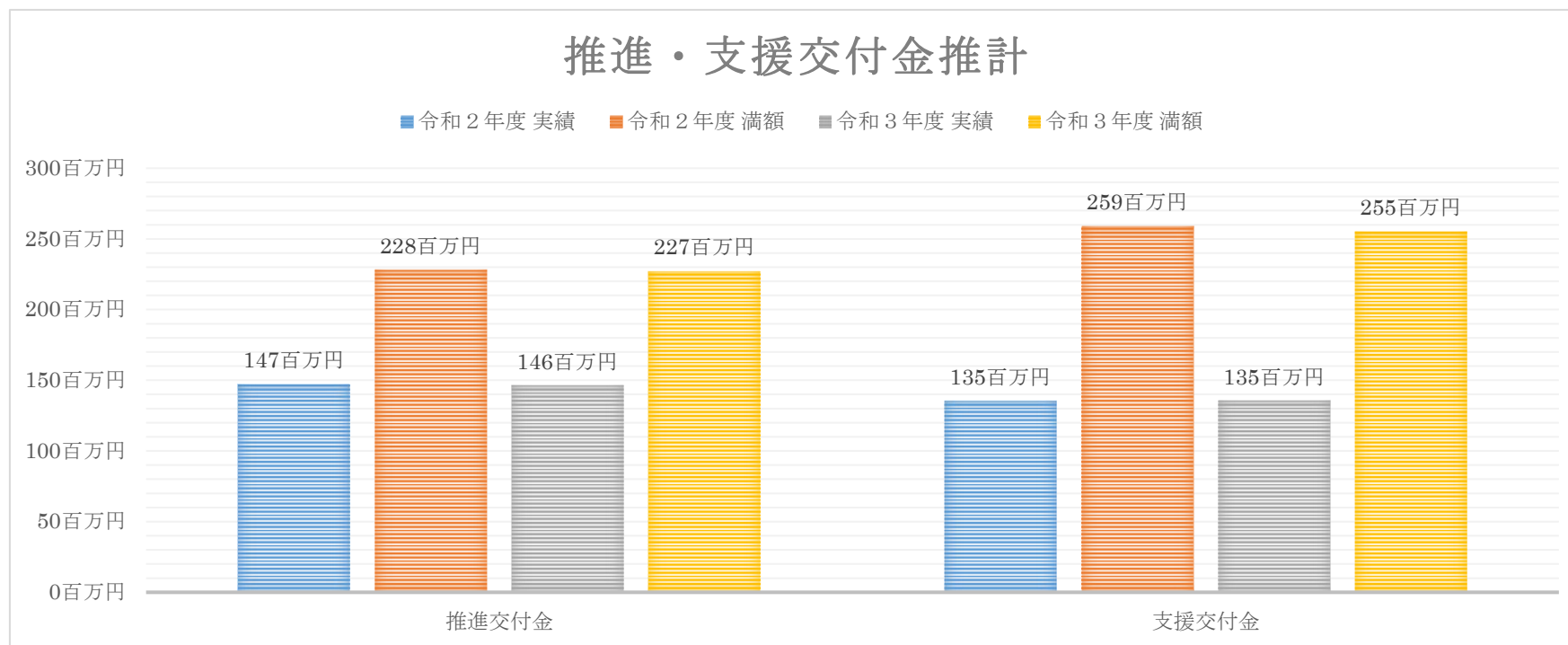
注 1) 支援交付金を充当できる包括的支援事業は、包括的継続的ケアマネジメント支援、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業の第一号保険料相当分に限りです。

注 2) 推進交付金を充当できる一般会計事業は、令和 2 年度から新規又は拡充した一般会計で行う高齢者の予防・健康づくりに資する取組に限りです。

注 3) 介護予防・日常生活支援総合事業の国及び第 1 号保険料の負担割合は、調整交付金の負担割合により異なります。

(2) 交付額

推進・支援交付金は、評価点、第1号被保険者数等を用いて、交付額を決定します。下のグラフは、左が実績、右がすべての評価項目を満たしたと仮定した場合の交付額の推計となります。



注) 実績は、計算式に基づく算出していますので、実際の交付額とは異なります。

第8期計画における介護サービス基盤の整備について

		第7期計画期間			第8期計画期間			第9期計画期間			第9期末整備数	2027～2040 までの整備数	整備数合計
		30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)			
特養(広域)	定員数			4,651	283	200	0	132	0	0	5,266	1,547	6,813
特養(密着)	定員数			250	0	0	0	0	0	0	250	0	250
特養(減床)	定員数			0	103	0	0	0	0	0	103	0	103
特養(累計)	定員数			4,901	180	200	0	132	0	0	5,413	1,547	6,960
老健	定員数			2,281	0	0	150	0	100	0	2,531	700	3,231
介護療養型医療施設	定員数			255	-32	0	-223	0	0	0	0	0	0
介護医療院(転換分含む)	定員数			0	40	0	223	0	0	100	363	150	513
介護付有料老人ホーム(専用型)	定員数			515	0	0	0	0	0	0	515	0	515
介護付有料老人ホーム(混合型)	定員数			7,069	0	180	180	180	160	150	7,919	1,110	9,029
グループホーム	事業所数			134	1	2	2	4	4	4	151	34	185
	ユニット数			263	2	6	6	12	12	12	313	102	415
	定員数			2,361	18	54	54	108	108	108	2,811	918	3,729
小規模多機能 (定員:29名)	事業所数			50	4	4	4	4	4	4	74	21	95
	登録定員数			1,317	116	116	116	116	116	116	2,013	609	2,622
看護小規模 (定員:29名)	事業所数			15	4	3	3	3	3	3	34	10	44
	登録定員数			401	116	87	87	87	87	87	952	290	1,242
定期巡回 (定員なし、25名)	事業所数			22	3	3	3	3	2	2	38	12	50
	利用者数			550	75	75	75	75	50	50	950	300	1,250
住宅型有料老人ホーム	定員数			3,076	192	192	192	-	-	-	-	-	3,652
サービス付き高齢者向け住宅	戸数			1,966	101	101	101	-	-	-	-	-	2,269

※数字は全て開設ベース

＜参考＞ 要介護認定者数に占める施設・居住系サービス床数の割合

	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	2040
① 要介護認定者数	43,334	45,587	47,839	50,093	52,345	54,598	56,428	74,835
② 要介護認定者数(要介護3～5のみ)	20,199	21,329	22,458	23,588	24,717	25,847	26,765	36,374
③ 施設・居住系サービス床数	17,382	17,588	18,022	18,406	18,826	19,194	19,552	23,977
④ ③／① 要介護認定者数に占める施設・居住系サービス	40.1%	38.6%	37.7%	36.7%	36.0%	35.2%	34.6%	32.0%
⑤ ③／② 要介護3～5認定者数に占める施設・居住系サービス	86.1%	82.5%	80.2%	78.0%	76.2%	74.3%	73.1%	65.9%

※施設・居住系サービスは特養、老健、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設、グループホーム
※ 第8期計画においては、2040年の備えの一つとして在宅限界点の向上を施策の方向とし、それに向けた取組を進めていく(予定)ため、今後、在宅生活を続ける方の割合が増加することが見込まれる。このことから、④及び⑤に示すように、要介護認定者数に占める施設・居住系サービス床数の割合を2040年に向けて、段階的に低下させていくことで、適正なサービス量の供給による介護保険料の抑制を図る。

川崎市介護保険運営協議会 地域密着型サービス等部会（第55回）報告

1 日時：令和3年8月17日（火）～令和3年8月25日（水）※書面会議

2 議題

- (1) (介護予防) 認知症対応型共同生活介護に係る内定受付要項等について
- (2) 令和3年度第2回地域密着型（介護予防）サービスの内定について
- (3) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の指定について
- (4) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の更新について
- (5) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の廃止・休止等について
- (6) その他

3 議題の詳細について

- (1) (介護予防) 認知症対応型共同生活介護に係る内定受付要項等について
「第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づく（介護予防）認知症対応型共同生活介護の内定申請の受付及び事業者の選定に向けて、受付要項及び選定基準について審議を行いました。

- (2) 令和3年度第2回地域密着型（介護予防）サービスの内定について
介護保険サービス事業者から地域密着型サービスに係る内定申請がありましたので、申請状況等について説明しました。

＜申請状況と結果＞

（令和3年12月1日までの開設分）

サービス種類	申請法人数	申請件数	内定
地域密着型通所介護	4 法人	4 事業所	4 事業所
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2 法人	2 事業所	2 事業所※

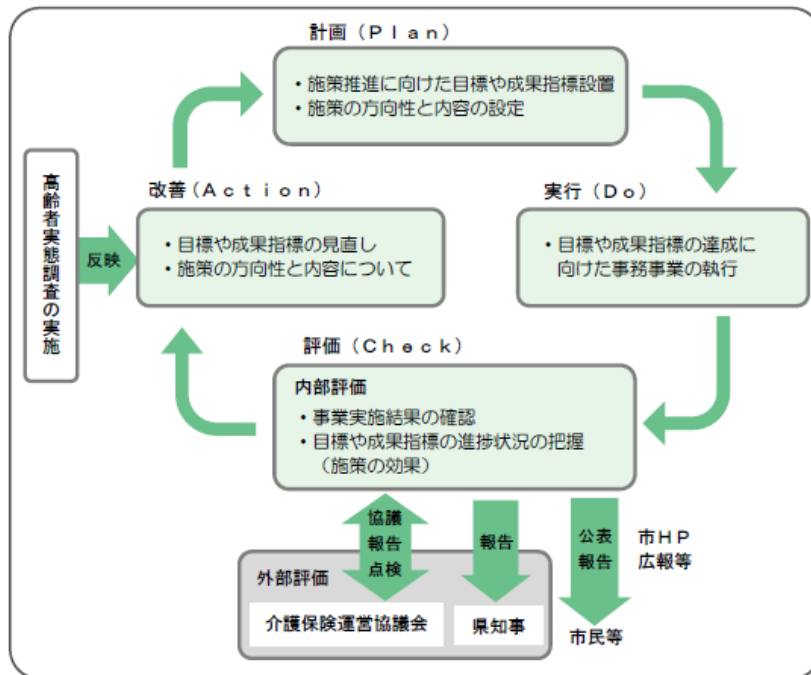
※うち1事業所について、法人から内定申請の取下げがありました。

- (3) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の指定について
令和3年6月から令和3年8月にかけて新たに指定を行った事業所について報告しました。
- (4) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の更新について
令和3年6月から令和3年8月にかけて指定更新を行った事業所及び令和3年9月から令和3年11月にかけて指定更新を行う予定の事業所について報告しました。
- (5) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の廃止・休止等について
令和3年5月から令和3年7月にかけて廃止の届出があった事業所について報告しました。
- (6) その他
特になし

第8期かわさきいきいき長寿プランの進捗管理について

1 進捗管理、評価のイメージ

【かわさきいきいき長寿プランの進行管理、評価のイメージ】



2 第8期計画で推進する重点事項

自立支援・重度化防止の推進、個別支援の充実と地域力の向上、ニーズに応じた介護基盤の整備、認知症施策推進大綱を踏まえた取組の強化

3 各施策の進捗管理項目

取組Ⅰ いきがい・介護予防 施策等の推進	i) 主体的な健康づくり・介護予防に向けた取組 ii) 身近で多様な通いの場の充実 iii) いきがいづくり・社会参加の促進 iv) 早期発見及び予防的介入の強化 v) 外出支援施策の推進
取組Ⅱ 地域のネットワークづ くりの強化	i) 地域のネットワークづくりの推進 ii) ひとり暮らし高齢者等の支援の推進 iii) 相談支援ネットワークの充実
取組Ⅲ 利用者本位のサービ スの提供	i) 介護保険サービス等の着実な提供 ii) 地域密着型サービスの取組強化 iii) かわさき健幸福寿プロジェクトの推進 iv) 介護人材の確保と定着の支援
取組Ⅳ 医療介護連携・認知 症施策等の推進	i) 在宅医療・介護連携の推進 ii) 認知症施策の推進 iii) 権利擁護体制の推進
取組Ⅴ 高齢者の多様な居住 環境の実現	i) 高齢者の生活の基盤となる住まいの安定確保 ii) 在宅生活が困難な方のための介護サービス基盤の整備 iii) 居住の安定確保に向けた住宅セーフティネットの構築

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名		I	いきがい・介護予防施策等の推進						
施策体系			施策	i)主体的な健康づくり・介護予防に向けた取組					
			施策の方向性	・介護予防に関する普及啓発を図り、自助・互助の意識の醸成を図ります。					
				・様々な生活ニーズへの対策を講じます。					
				・自立支援・重度化防止の観点から、事業の実績把握、改善、見直しなどを行いながら取り組みます。					
取組状況			・高齢者の健康づくり・介護予防の普及啓発	・セルフケア意識の醸成と健康づくり・介護予防の推進					
				・社会参加の促進とフレイル予防					
			・多様な主体による生活ニーズへの対応	・生活支援コーディネーター等による「地区カルテ」等を活用した生活課題・地域課題の把握					
				・多様な主体との協働により地域づくりに資する仕組み					
取組目標			・高齢者が有する能力に応じて地域で自立した生活を送るために、要介護状態等となることの予防や悪化を防止するための普及啓発を推進します。自立支援・重度化防止を踏まえ、高齢者が介護が必要となる前の状態である「フレイル」とその予防の観点を取り入れ、若い世代からの健康づくりや生活習慣の見直しについて広く普及啓発を実施します。 ・地区カルテ等を活用し、地域課題の把握や分析・検討(地域アセスメント)、社会資源の発掘等を通じ、住民自らの課題意識に基づいた生活支援や介護予防活動の創出に取り組みます。						
取組目標に対する課題			・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点と「新しい生活様式」並びに市の行政運営方針に伴う介護予防活動や住民主体の通いの場等における定員制限や活動の自粛により、活動機会の減少が危惧されます。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域での対話の機会を増やすことに困難な状況が予測されます。 ・様々な機会を通じて、高齢者の生活課題を把握する仕組みづくりが必要です。						
取組の方向性			・様々な機会を活用した、介護予防に関する自助・互助の意識醸成や普及啓発の実施。 ・介護予防普及啓発事業の主要事業である「いきい元気広場事業」への参加促進と事業終了後のフォローアップの実施。 ・地区特性に合わせた各区地域支援課等における介護予防普及啓発事業の実施。 ・地区カルテ等の活用による地域分析や生活課題の抽出等、各区取組状況の把握。						

指標分類		数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	介護予防普及啓発事業(一般介護予防事業)の参加者数		目標	13,104	26,557	40,010以上	人
		説明	いきい元気広場等の委託事業及び各区地域支援課等での講演会等の実績	実績				
2	成果指標	いきい元気広場事業終了後に介護予防活動を継続している者の割合		目標	95	95	95	%
		説明	事業終了後2か月後の聞き取りで継続していると回答した者の割合	実績				
3	成果指標	各区における地区カルテ等の活用による住民との対話の機会		目標	44	44	44	箇所
		説明	小地域におけるワークショップ等の機会促進	実績				
4	成果指標			目標				
		説明		実績				
当該年度の達成度		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等								

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名		I		いきがい・介護予防施策等の推進	
施策体系	施策	ii)身近で多様な通いの場の充実			
	施策の方向性	・様々な住民主体の通いの場づくりを進めます。			
		・継続的な活動を支援します。			
取組状況	地域介護予防活動支援事業	・地域の「支え手」や生活支援の「担い手」の発掘・育成			
		・新たな活動の立ち上げや活動の継続・地域展開のための助言や支援			
	虚弱になっても通い続けられる地域の居場所づくりの支援	・「通いの場」の活動状況把握と取組支援			
		・委託団体の活動継続支援			
取組目標		・介護予防に資する住民主体の通いの場について、コロナ禍による影響を踏まえ、活動状況を把握します。また介護予防に関するボランティアや地域活動のリーダーとなる市民など、地域の「支え手」や生活支援の「担い手」の発掘・育成を図ります。 ・新たな活動の立ち上げや活動の継続・地域展開のための助言や支援など、地域で支え合う仲間づくりや地域づくりを推進します。			
取組目標に対する課題		・新型コロナウイルス拡大による外出自粛等により、要支援高齢者等の様々な機能低下が危惧されます。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点と「新しい生活様式」並びに市の行政運営方針に伴う介護予防活動や住民主体の通いの場等における定員制限や活動の自粛により、活動機会の減少が危惧されます。 ・参加者の重度化による活動団体の負担増が懸念されます。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた通いの場の環境整備等の費用負担増が考えられます。			
取組の方向性		・地区特性に合わせた各区地域支援課等における地域介護予防活動支援事業の実施 ・団体の活動状況の把握及びアンケート・ヒアリング等による課題の把握と対応策の検討			

指標分類		数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	地域介護予防活動支援事業の実施回数		目標	207	524	841以上	回
		説明	健康福祉局の委託事業及び各区地域支援課等の実績	実績				
2	成果指標	地域介護予防活動支援事業の参加者数		目標	3,654	10,437	17,219以上	人
		説明	健康福祉局の委託事業及び各区地域支援課等の実績	実績				
3	成果指標	多様な主体による「通いの場」への参加者数		目標	2,500	2,500以上	2,500以上	人
		説明	高齢者の通いの場の参加促進	実績				
4	成果指標			目標				
		説明		実績				
当該年度の達成度		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等								

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	I	いきがい・介護予防施策等の推進					
施策体系	施策	iii) いきがいづくり・社会参加の促進					
	施策目標	高齢者の多様な生きがいがづくり、地域交流などの取組を推進します。					
取組状況	シニアパワーアップ推進事業	・シニア向け傾聴講座の開催 ・自己啓発講演会の開催 ・シニア向けパソコン講座・スマホ講座の開催					
	いきがいがづくりの支援	・老人クラブ活動への支援 ・ねんりんピックへの選手派遣 ・敬老祝品贈呈と市長敬老訪問の実施 ・敬老入浴デー等の実施					
	高齢者のいきがいを高めることを目的とした就労の支援	・シルバー人材センターの取組の支援					
	地域活動をより活発にするための活動支援	・「情報」による活動支援 ・「場」による活動支援 ・「資金」による活動支援					
取組目標	・高齢化が進展する中、高齢者がいきがいや健康づくりなど地域活動を主体的に行う環境づくりや居場所づくりが必要であることから、社会参加の場づくりの支援を推進するとともに、地域交流の取組を継続的に実施します。 ・地域に目を向けて活動するシニアの養成のために実施しているシニアパワーアップ推進事業について、継続的に実施しつつ、社会状況等を踏まえながら事業内容の拡充等を行います。 ・高齢者のいきがいがづくりのため、老人クラブ活動への支援や、シルバー人材センターの取組への支援を継続的に実施します。 ・高齢者の地域活動への支援について、より効率的・効果的な手法を検討しつつ、「情報」「場」「資金」での支援を継続します。						
取組目標に対する課題	・シニア向けパソコン講座等については受講者の受講後の活用状況の把握が困難 ・老人クラブは高齢者の価値観や趣味の多様化から全国的にも減少傾向であり、本市においてもクラブ数、会員数ともに減少傾向のため、より活動を促進するための取組が必要 ・シルバー人材センター以外の就労支援窓口の効果も含まれるため、同センターの効果のみの把握は困難 ・今後、IRAPに基づきこいの家機能の展開が進んだ場合に、指標変更の検討が必要						
取組の方向性	・委託法人が独自に実施しているフォローアップ講座等の状況確認を行うなど、受講者の状況把握の検討を行う。 ・高齢者のニーズや社会状況等を踏まえながら、新しいコンテンツの導入など、より効果的な手法について検討する。 ・R3から老人クラブ補助金の要件緩和を行ったことの効果検証を行うなど、既存クラブの活性化を図るとともに、高齢者の価値観の多様化等を踏まえながら必要に応じて他の支援策についても検討する。 ・シルバー人材センターの取組の支援を継続するとともに、別途実施している出資法人の取組評価等により、同センターの取組の効果を測っていく。 ・生涯学習プラザにおけるシニア向け無料開放デー等、機能展開事例の進捗に応じて人数のカウント手法を検討する。						
指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	パソコン・スマホ講座実績	目標	3	3	3	講座
		説明	実績				
2	成果指標	老人クラブ数	目標	448	448	448	クラブ
		説明	実績				
3	成果指標	収入が伴う仕事をしている高齢者の割合	目標	—	36.1	—	%
		説明	実績				
4	成果指標	いきいきセンター利用者数	目標	14.8	18.4	22	万人
		説明	実績				
当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等							

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	I	いきがい・介護予防施策等の推進					
施策体系	施策	iv)早期発見及び予防的介入の強化					
	施策の方向性	・要支援、要介護状態につながる生活習慣病の重症化予防の取組を進めます。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組を進めます。					
取組状況	生活習慣病重症化予防のための取組	・川崎市国民健康保険第2期データヘルス計画に基づく受診勧奨及び保健指導の実施					
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組	・フレイル予防のための後期高齢者への訪問等による相談指導の実施 ・高齢者の通いの場での健康教育・健康相談の実施					
取組目標	・川崎市国民健康保険被保険者の腎機能の悪化を食い止め、腎不全、人工透析への移行を防止し、被保険者の生活の質の低下を防ぐことを目的として、糖尿病性腎症の重症化予防に重点を置いた、新たな事業実施体制を構築します。 ・低栄養状態の改善へのアプローチやフレイル予防に関する高齢者の意識醸成を図り、フレイル予防や介護予防、高齢者のQOLの維持向上を目指して訪問相談・健康教育等をモデル的に実施し、実施結果を検証して令和4年度以降の取組について検討します。						
取組目標に対する課題	・性別や年齢など多様な被保険者に合わせたICTの活用、さらには架電や訪問の日時等、柔軟なアプローチ方法の構築 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から高齢者の通いの場の活動自粛や対面での指導に困難な状況が予測されます。						
取組の方向性	・血糖値と腎機能に特化して対象者を抽出し、医療機関への受診勧奨を行うとともに、新たに保健指導を実施します。 ・専門職(保健師、看護師、管理栄養士等)による訪問指導及び高齢者の通いの場におけるフレイル予防の普及啓発活動や運動、栄養、口腔等に関する健康教育・健康相談を実施していきます。						
指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	生活習慣病重症化予防事業対象者への受診勧奨率	目標	100	100	100	%
		説明 文書、電話、訪問等での働きかけによる実施率	実績				
2	成果指標	訪問等での相談指導や通いの場での健康教育の手法の構築	目標	モデル実施	実施結果の検証	次期計画への反映	
		説明 モデル実施を通しての手法の構築	実績				
当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 4. 目標を下回った 2. 目標を上回って達成 5. 目標を大きく下回った 3. ほぼ目標どおり						
取組内容の実績等							

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	I	いきがい・介護予防施策等の推進					
施策体系	施策	外出支援施策の推進					
	施策目標	・高齢者の人口増加やニーズの多様化に伴い、時代に即した持続可能な制度への再構築を検討します。					
取組状況	社会活動への参加促進を目的とした外出の支援	・路線バスを活用した外出支援					
		・ICTの導入による正確な利用実態の把握及び持続可能な制度構築					
取組目標	・路線バスを活用した高齢者の社会活動への参加促進を図ります。 ・令和3年3月に策定した「川崎市高齢者外出支援乗車事業のあり方検討に係る報告書」に基づき、ICTの導入による正確な利用実態の把握と、それらに基づいた持続可能な制度構築に向けた検討を進めます。 ・導入するICTを活用した新たな社会参加施策について、検討します。						
取組目標に対する課題	・アンケート対象者が、高齢者外出支援乗車事業の対象でない年齢層も含んでいるため、事業効果を測りにくい。						
取組の方向性	・事業の効果について、導入したICTを活用して検証する手法を検討する。 ・ICTを活用した新たな社会参加施策などの検討を行う。						

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明	目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1 成果指標	ほぼ毎日外出している高齢者の割合	目標	—	53.5	—	%
	説明	実績				
2 成果指標		目標				
	説明	実績				

当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
取組内容の実績等	

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	II	地域のネットワークづくりの強化					
施策体系	施策	i)地域のネットワークづくりの推進					
	施策の方向性	・市民や民間事業者等の多様な主体との協働により、地域特性に応じた見守りネットワークづくりを推進します。					
		・虚弱等になっても通い続けられる居場所づくりを推進します。					
		・介護事業所等による地域支援の取組を推進します。					
取組状況	地域見守りネットワーク事業	・地域見守りネットワークの周知					
		・協力民間事業者の拡充					
		・人命救助につながった協力民間事業者の表彰					
	虚弱になっても通い続けられる地域の居場所づくりの支援	・地域の多様な居場所の充実とネットワークによる見守り支援					
		・住民主体活動の再把握と支援					
	介護事業所への生活支援コーディネーター配置	・地域ネットワークの新たな担い手の確保					
		・地域おける早期からの関係づくり、専門性を活かした重度化防止への対応					
取組目標		・地域見守りネットワーク事業の充実 ・虚弱になっても通い続けられる地域の居場所づくりの推進 ・地域ネットワークの新たな担い手の確保					
取組目標に対する課題		・地域見守りネットワーク事業の充実として、参加事業所は増加していますが、事業内容の理解等が薄れている可能性があります。 ・虚弱になっても通い続けられる地域の居場所づくりの推進として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動状況の変化があるため、通いの場実施状況の調査が必要です。また、参加者の重度化による団体の費用負担増、感染予防を踏まえた通いの場の環境整備等の負担増、住民主体団体の活動多様化により、継続活動支援の多様化が求められています。 ・介護事業所への生活支援コーディネーターの配置として、生活支援コーディネーターの人材育成とともに、委託事業所との3年契約開始に伴う、事業運営水準の維持管理が必要です。					
取組の方向性		・地域見守りネットワーク事業の充実として、年に一度開催している「安心見守りネットワーク会議」等の場を通じて、改めて事業内容を理解するための研修等を行い、事業の実効性を高めていきます。 ・虚弱になっても通い続けられる地域の居場所づくりの推進として、住民主体による要支援者等支援事業参加団体へのアンケート・ヒアリング等による現状及び課題の把握とともに、住民活動の維持継続に向けた単価のあり方の検討します。 ・介護事業所への生活支援コーディネーターの配置として、委託事業所の拡充、生活支援コーディネーター研修の体系化、委託事業所の評価の仕組みを構築します。					

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明	目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1 成果指標	地域見守りネットワーク事業協力民間事業者数	目標	65	75	78	事業所
	説明 協力民間事業者の拡充に向けた取組を推進	実績				事業所
2 成果指標	「住民主体による要支援者等支援事業」参加団体拡大に向けた検討	目標	現状・課題	対応策の検討	次期計画への反映	
	説明 要支援高齢者等の通いの場への参加を推進	実績				
3 成果指標	小地域における生活支援体制整備事業受託事業者数	目標	17	24	31	事業所
	説明 介護事業所への生活支援コーディネーター設置を推進	実績	13			事業所

当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
取組内容の 実績等		

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	II		地域のネットワークづくりの強化					
施策体系	施策	ii)ひとり暮らし高齢者等の支援の推進						
	施策の方向性	・民生委員児童委員等と連携しながら、地域ぐるみの見守り活動を行います。 ・ニーズや社会状況に応じながら制度の持続可能性を踏まえて支援サービスの最適化を図るとともに、適時適切な利用につながるよう広報に努めます。						
取組状況	民生委員児童委員等と連携した見守り支援の推進		・民生委員児童委員等と連携したひとり暮らし等高齢者の実態把握 ・見守りが必要な方へ、民生児童委員等と連携した見守り活動					
取組目標	・ひとり暮らし等高齢者見守り事業を実施し、ひとり暮らし高齢者の安否確認及び民生委員等とのつながりによる地域での話し合いの機会を増やすことで、住み慣れた地域で高齢者が安心して日常生活を営めることを目的とします。 ・高齢者生活状況調査による見守り対象者の選定及び定期的な見守りを実施します。 ・見守り対象者把握のための調査に係る民生委員児童委員の負担軽減を図ります。							
取組目標に対する課題	・見守り対象者への見守り頻度等に関する基準が明確になっていません。 ・調査に係る資料の運搬、管理に係る民生委員の負担が大きいです。 ・調査で未回答だった方について、潜在的な見守り対象である可能性があります。 ・民生委員児童委員が保有する個人情報の範囲・取扱い方法を整理する必要があります。 ・地域包括支援センターとの連携が必要です。							
取組の方向性	・民生委員児童委員等と連携し、調査方法及び見守り活動・調査結果有効活用等のあり方検討【R3～】 ・調査手法の見直しを行い、民生委員児童委員の調査に係る負担の軽減【R3～】 ・民生委員児童委員が保有する個人情報の範囲・取扱い等に関する整理【R3～】 ・地域包括支援センターへの情報提供による地域での見守り推進【R3～】							

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1 成果指標		ひとり暮らし高齢者見守り事業における見守り対象者数(新規)	目標	100	10	10	人
	説明	見守り対象となったひとり暮らし等高齢者の人数(新規)	実績				
2 成果指標			目標				
	説明		実績				
3 成果指標			目標				
	説明		実績				

当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
取組内容の実績等	

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	II	地域のネットワークづくりの強化	
施策体系	施策	iii)相談支援ネットワークの充実	
	施策の方向性	・相談支援ネットワークの中核を担う地域包括支援センターの機能の充実を図ります。	
		・ケアマネジメントの質の向上に向けた取組を推進します。	
		・地域リハビリテーションの取組を推進します。	
		・包括的な相談支援を実施するため、分野を超えて総合的に相談に応じ、関係機関と連絡調整を行う取組を進めます。	
取組状況	地域包括支援センター(包括)の機能の充実		・地域包括支援センターの設置・運営(市内49箇所) ・相談窓口の認知度向上の取組 ・職員の充足率向上に向けた定着支援 ・地域ケア会議の活用による支援ネットワーク構築
	ケアマネジメントの質の向上		・ケアマネジメント支援体制の構築
	地域リハビリテーションの取組推進		・地域リハビリテーション支援拠点の設置
	包括的な相談支援(多機関連携の推進)		・多機関連携支援モデルの作成
取組目標	①地域包括支援センターの機能の充実 ②支援を要する高齢者が適切に支援者につながる事ができる地域の相談支援ネットワーク構築 ③地域の高齢者の自立支援に資するケアマネジメント機能の充実 ④自立支援・重度化防止に資する介護サービスの提供に向けた取組の推進 ⑤様々な支援ニーズに円滑に対応するための、多機関連携の取組の推進		
取組目標に対する課題	①地域包括支援センターの機能の充実 ○地域包括支援センター事業のPDCAサイクル強化 ○相談ニーズの増加に対応した体制整備 ○地域包括支援センターの安定的な運営に向けた人材確保・定着 ○地域ケア会議の運用の平準化、積極的な活用 ○地域包括支援センターの認知度向上 ②地域の相談支援ネットワーク構築 ○地域の特性に応じた取組の実施 ○支援の必要性を自覚していない方、援助希求が弱い方等への対応 ③ケアマネジメント機能に関する協議機能の不足 ④自立支援・重度化防止の取組強化 ⑤分野が異なる関係機関同士の相互理解の促進		
取組の方向性	①地域包括支援センターの機能の充実 ・事業計画・評価の適切な運用によるセンター運営のPDCAサイクルの強化【指標1】 ・担当エリアの高齢者人口に応じた適切な体制整備の実施【指標2】 ・地域包括支援センターの人材定着に向けた取組 ・地域ケア会議の運用ルールの整備等による活用促進【指標3】 ・分かりやすいパンフレット作成等による地域包括支援センターの周知の継続【指標4】 ②地域の相談支援ネットワーク構築 ・支援ニーズや地域特性等に対応した取組の推進(市・区レベルの地域ケア会議の取組と連動) ・支援対象者の早期発見・早期支援に向けた対象者抽出等による積極的な働きかけの手法等を検討【指標5】 ③地域の高齢者の自立支援に資するケアマネジメント機能の充実にに向けた取組体制の構築【指標6】 ④リハビリテーションの視点を踏まえた自立支援・重度化防止 ・地域リハビリテーション支援拠点の設置及び適切な運営【指標7】 ⑤多様化・複雑化する支援ニーズに対応するため、円滑な連携のための関係機関の意識向上 ・令和2年度に策定した多機関連携支援モデルを活用した関係機関への研修等の実施【指標8】		

指標分類		数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	地域包括支援センター事業計画・評価の適正な実施		目標	包括運協にて報告	包括運協にて報告	包括運協にて報告	
		説明	事業計画・評価の実施状況について、市地域包括支援センターに報告し、審議結果を各区にフィードバックする	実績				
2	成果指標	高齢者人口1500人当たりの地域包括支援センター職員配置数		目標	1.00	1.00	1.00	人
		説明	担当エリアの高齢者人口に応じた体制整備 算定方法は、保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金に係る評価指標に準拠	実績				人
3	成果指標	地域ケア会議の開催回数		目標	300	350	400	回
		説明	地域ケア会議による相談ネットワーク構築を評価 算定方法は、保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金に係る評価指標に準拠	実績				
4	成果指標	地域包括支援センターの認知度		目標	-	50	50	%
		説明	適切な総合相談の実施に向けて、地域包括支援センターの認知度を評価 数値の出典：高齢者実態調査	実績				%
5	成果指標	支援対象者の早期発見・早期支援に向けた仕組みの構築		目標	課題整理	対応策の検討	次期計画への反映	
		説明	高齢者実態把握を進めている各種事業との連携強化 対象者抽出等による積極的な働きかけの手法等を検討	実績				
6	成果指標	地域のケアマネジメント機能強化に向けた協議体制の構築		目標	関係者との協議	協議体制立ち上げ	取組継続	
		説明	ケアマネジャー、関係機関等の協議体制構築	実績				
7	成果指標	地域リハビリテーション支援拠点の支援件数		目標	500	1,000	1,000	件
		説明	介護予防ケアマネジメントにおける連携加算の算定件数	実績				件
8	成果指標	多機関連携支援モデルを踏まえた人材育成		目標	30	60	90	人
		説明	研修参加者数の累計	実績				人
当該年度の達成度		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等								

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	Ⅲ		利用者本位のサービスの提供					
施策体系	施策	i)介護保険サービス等の着実な提供						
	施策の方向性	・要介護・要支援高齢者が地域で生活するために必要なサービスを提供します。 ・制度改正や社会状況の変化等を踏まえ、サービスの最適化を図ります。						
取組状況	介護保険サービス等の着実な提供	・利用者本位のサービスを提供 ・制度改正や社会状況の変化等を踏まえたサービスの適正化						
取組目標	・効果的な介護保険事業等の普及及び啓発 ・制度改正、社会状況に即した介護予防・生活支援サービス事業費の見直し ・介護給付の適正化の推進(主要5事業等)の着実な実施							
取組目標に対する課題	・効果的な情報の発信方法の構築 ・自粛によるフレイル、抑うつ、孤立のリスク ・介護予防・生活支援サービス事業の利用減							
取組の方向性	・商品志向から価値主導への見直し。 ・プロモーションの強化 ・未利用者に対する意識調査及び効果的な対策の実施							

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明	目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1 成果指標	介護保険給付費	目標	101,074	106,138	111,266	百万円
	説明 介護給付費の見込み額	実績				
2 成果指標	介護予防・生活支援サービス事業費	目標	2371	2459	2544	百万円
	説明 介護予防・生活支援サービス事業費の見込み額	実績				
3 成果指標		目標				
	説明	実績				

当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
取組内容の実績等	

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	Ⅲ	利用者本位のサービスの提供	
施策体系	施策	ii)地域密着型サービスの取組強化	
	施策の方向性	・中重度の要介護高齢者の在宅生活を支えるための取組を進めます。	
取組状況	地域密着型サービスの取組強化	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備	
		小規模多機能型居宅介護の整備	
		看護小規模多機能型居宅介護の整備	
取組目標	・中重度の要介護高齢者等が地域で暮らし続けることができる環境の整備 ・在宅療養患者の生活を介護面から支える24時間、365日対応の地域密着型サービスの整備推進 ・小地域における地域包括ケア推進の拠点としての地域密着型サービス事業所の「地域化」の推進 ・地域密着型サービスの普及促進 ・規模の経済性、経験曲線効果による生産性の向上		
取組目標に対する課題	・地域密着型サービスへの参入意欲の低下 ・人件費等の上昇、国の報酬設定等による採算性の悪化、事業所の撤退 ・人材不足等による生産性、質の低下 ・地域拠点として独自の取組を展開している事業所等を支援する仕組みの不足		
取組の方向性	・他施設機能への誘導や、市有地を活用した整備 ・事業所向けの研修や、事業所の参入促進に向けたセミナー開催 ・広報等の活動を通じた地域密着型サービスの普及促進 ・小規模多機能型居宅介護事業所・看護小規模多機能型居宅介護事業所への生活支援コーディネーターの配置(委託)等による事業所機能の地域開放、地域化の推進		

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	主な地域密着型サービスの延べ利用者数	目標	設定なし	設定なし	31,812	人
		説明 主な地域密着型サービスの延べ利用者数	実績				
2	成果指標	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備	目標	3	3	31	か所
		説明 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備数	実績				
3	成果指標	小規模多機能型居宅介護の整備	目標	4	4	62	か所
		説明 小規模多機能型居宅介護の整備数	実績				
4	成果指標	看護小規模多機能型居宅介護の整備	目標	4	3	25	か所
		説明 看護小規模多機能型居宅介護の整備数	実績				
5	成果指標	小地域における生活支援体制整備事業受託事業者数	目標	17	24	31	か所
		説明 介護事業所への生活支援コーディネーター設置を推進	実績				

当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	
取組内容の実績等		

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	III	利用者本位のサービスの提供	
施策体系	施策	iii)かわさき健幸福寿プロジェクトの推進	
	施策の方向性	・これまでの取組状況、評価、分析等を踏まえ、介護サービス事業所及びサービス利用者等のより一層の意識醸成を図るため、普及啓発を行います。	
取組状況	かわさき健幸福寿プロジェクトの推進に向けた取組	・広報動画等、新たな広報ツールを活用した普及啓発	
		・これまでとは異なる参加方法及び評価手法の検討	
取組目標	・多くの利用者・事業者から参加が得られるよう、事業広報の拡充(広報動画の作成)及び事業所負担の軽減を図ります。 ・これまでの1人の利用者を支える介護サービス事業所がチームとなって参加する方法とは異なる参加方法及び評価手法の検討を進めます。 ・国の介護報酬等や他都市の動向、データ分析を踏まえ、事業の将来的な方向性の検討を進めます。		
取組目標に対する課題	・新型コロナウイルス感染症の影響により、参加事業所数及び参加利用者数ともに減少傾向です。 ・評価対象とするサービス種別、成果指標やプロセス評価の導入等についての検討が必要です。		
取組の方向性	・事業広報の拡充 ・事業所負担の軽減 ・新たな評価事業所評価手法の導入、事業の方向性の検討		

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	かわさき健幸福寿プロジェクト参加者数	目標	270	405	433	人
	説明	プロジェクトに参加し、自らの要介護度等の改善・維持に取り組む者の数	実績				
2	成果指標	かわさき健幸福寿プロジェクト参加事業所数	目標	300	320	350	事業所
	説明	プロジェクトに参加し、自らの要介護度等の改善・維持に取り組む市内の介護サービス事業所の数	実績				
3	成果指標	プロジェクト参加者の要介護度改善率	目標	17	17	17	%
	説明	プロジェクト参加者の要介護度改善率	実績				
4	成果指標	プロジェクト参加者の要介護度維持率	目標	65	65	65	%
	説明	プロジェクト参加者の要介護度維持率	実績				

当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	
取組内容の実績等		

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	III	利用者本位のサービスの提供					
施策体系	施策	iv)介護人材の確保と定着の支援					
	施策の方向性	・今後、急速な高齢化が進む中、更なる介護人材の確保・定着が求められることから、効率性や即効性の観点から事業の見直しを検討します。					
		・外国人介護人材やシニア層など多様な人材の活用・確保の取組を進めます。					
取組状況	人材の呼び込み	・介護のイメージアップを図るため、イベントの開催やフリーペーパーの配布、若い世代への普及啓発に取り組みます。					
	就労支援	・無料職業紹介や初任者・実務者研修の補助、暮らしサポーターの育成に取り組みます。					
	定着支援	・メンタルヘルス相談窓口の設置や介護ロボットの導入などを行います。					
	キャリアアップ支援	・総合研修センターによる階層別の研修を行い、資質の向上を図ります。					
取組目標	・介護事業者が安定した運営を行うためには、介護サービスの最大の基盤である人材確保が重要であることから、人材の量的確保と質的確保を総合的に取り組みます。						
取組目標に対する課題	・介護の魅力積極的に発信し、理解の深化や関心を高める必要があります。 ・他産業からの転職者、子育て後の女性、中高年者など多様な人材の参入を促す必要があります。 ・離職理由が「結婚・出産・育児」などが挙げられることから、事由に応じた対策に取り組む必要があります。 ・介護ニーズの多様化・高度化やマネジメント能力の必要性の高まりに対応した介護職員の質的向上及び役割の明確化等が必要です。						
取組の方向性	・介護のイメージアップを図り、介護職の仕事の意義や理解を深める取組を進めるとともに、若い世代においては、将来の職業を考えるきっかけとなるよう参入促進に取り組みます。 ・介護未経験者や潜在介護福祉士、地域の元気な高齢者や子育てが終わった主婦層が働きやすい環境づくりに取り組みます。 ・仕事と介護の両立や介護職員が働き続けられるよう、雇用主の理解促進を図るとともに、介護職員の離職を防ぐ各種取組を進めます。 ・高度化・複雑化する介護ニーズに対し、質の高い介護サービスを提供するため、資格取得等キャリアパス制度の整備など支援の充実に取り組みます。						
指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	介護人材の不足感	目標	75.8	75.8	71.0	%
		説明	川崎市高齢者実態調査により従業員の過不足状況	実績			
2	成果指標		目標				
		説明		実績			
3	成果指標		目標				
		説明		実績			
当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等							

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	IV 医療介護連携・認知症施策等の推進						
施策体系	施策	i)在宅医療・介護連携の推進					
	施策の方向性	・在宅医療・介護に係わる多職種連携の強化、在宅療養者に対する一体的な支援体制の構築に向けた取組を推進します。					
		・多職種連携の強化として、チームで在宅療養を支える人材を育成します。					
取組状況	①在宅医療の体制構築	川崎市在宅療養推進協議会、地区在宅療養推進協議会の設置					
		在宅療養調整医師の配置					
		在宅医療における多職種連携ツールの作成・普及					
		「在宅チーム医療を担う地域リーダー研修」による人材育成					
取組状況	②介護サービス基盤の整備促進	特別養護老人ホームにおける医療的ケアが必要な要介護高齢者等の受入れ					
		介護付き有料老人ホームにおける医療的ケア充実					
		24時間365日対応が可能な地域密着型サービスの整備・拡充					
		病院ヒアリングによる実態把握					
取組状況	③円滑な退院支援と急変時の対応	入退院調整モデルの作成					
		入退院支援ガイドブック・入退院調整窓口一覧の作成					
		市民シンポジウムの開催等による在宅医療の普及啓発					
		在宅医療Q&Aの発行					
取組状況	④在宅医療・かかりつけ医等の普及啓発	かかりつけ医等の普及啓発					
取組目標	◎川崎市在宅療養推進協議会、地区在宅療養推進協議会における多職種連携の取組推進 ◎在宅チーム医療を担う人材の育成 ◎在宅医療との連携を重視した介護サービス基盤の整備 ◎入退院支援の円滑化 ◎在宅医療等に関する市民理解の促進						
取組目標に対する課題	・診療報酬及び介護報酬の改定(加算創設等)等による多職種連携の環境整備は進んでいるが、関係職種間の現場レベルでの相互理解が不足 ・医療・介護関係者への相談支援の実施 ・在宅療養患者の生活を介護面から支える24時間、365日対応の介護サービス基盤の整備 ・在宅医療が必要となった段階で、市民が適切な選択ができる正しい知識と理解の浸透						
取組の方向性	・関係職種間の相互理解の促進と、人材育成、連携ツール等の整理・活用促進 ・医療・介護関係者の相談支援ニーズの把握と、相談機能の充実 ・24時間、365日対応の地域密着型サービスの整備 ・在宅医療・かかりつけ医等の普及啓発						

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明	目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1 成果指標	川崎市在宅療養推進協議会の開催回数	目標	3	3	3	回
	説明 多職種連携のプラットフォームとして設置	実績				
2 成果指標	「在宅チーム医療を担う地域リーダー研修」の受講人数(累計)	目標	1150	1300	1450	人
	説明 在宅チーム医療を担う人材育成の取組	実績				
3 成果指標	医療・介護関係者の相談支援機能の充実	目標	ニーズ把握	支援の実施	取組継続	
	説明 総合リハビリテーション推進センターへの相談受付機能の付与	実績				
4 成果指標	主な地域密着型サービスの延べ利用者数	目標	→			31812 人
	説明 在宅療養を支える24時間365日対応が可能な地域密着型サービスの利用状況	実績				

当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
取組内容の実績等	

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	IV	医療介護連携・認知症施策等の推進	
施策体系	施策	ii)認知症施策の推進	
	施策の方向性	・認知症サポーター養成講座等を引き続き実施するとともに、認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組みの整備に向けた取組を進めます。	
		・認知症の人同士が語り合う「本人会議」の実施等により、本人や家族の視点を重視した取組の実現につなげていきます。	
		・認知症予防の観点から、イベント形式による軽度認知障害(MCI)スクリーニング検査のモデル事業を引き続き実施するとともに、本格実施に向けた検討を進めます。	
		・認知症の人の介護者への支援に引き続き取り組みます。	
		・若年性認知症支援コーディネーターによる若年性認知症の人の就労継続や社会参加等への支援の取組を進めます。	
取組状況	①認知症に関する知識の市民への普及		・認知症サポーター養成講座の開催 ・認知症に関するイベント等の実施 ・認知症アクションガイドブック(認知症ケアパス)の発行
	②認知症の人(本人)や家族の視pointsの重視		・認知症の人や家族の視pointsに立った認知症の理解を深める取組の実施 ・本人会議の推進
	③認知症予防の取組		・軽度認知障害(MCI)スクリーニング検査のモデル事業の実施
	④適時・適切な医療・介護等の提供		・認知症疾患医療センターの取組 ・認知症訪問支援チームの取組 ・認知症地域支援推進員の取組
	⑤介護従事者や医療従事者等に対する認知症の研修等		・認知症介護実践者研修等 ・認知症サポート医養成研修 ・認知症対応力向上研修
	⑥認知症の人の介護者への支援		・川崎市認知症コールセンターの運営 ・認知症高齢者介護教室の開催 ・認知症あんしん生活実践塾の開催 ・携帯型緊急通報システム事業の実施
	⑦地域における認知症施策		・チームオレンジの整備に向けた取組 ・認知症カフェ・地域カフェ等の普及に向けた取組
	⑧若年性認知症に対する取組		・若年性認知症者及び家族の支援
取組目標	① 認知症サポーター養成講座の実施(8,000人以上) ② イベント等における本人からの情報発信機会の提供や本人会議の実施 ③ 軽度認知障害(MCI)スクリーニング検査モデル事業の各区での実施 ④ 認知症疾患医療センターの2か所増設(計4か所) ⑤ 認知症介護指導者養成研修(2人以上)、認知症サポート医養成研修(36人以上)、フォローアップ研修(30人以上)、かかりつけ医研修(50人以上)、認知症対応力向上研修(200人以上) ⑥ 認知症コールセンターの運営等の広報の実施 ⑦ 2025年度までのチームオレンジの仕組みの構築 ⑧ 若年性認知症の取組の広報の実施		
取組目標に対する課題	① 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、実施方法に対する工夫が必要です。 ② 認知症に関する普及啓発を積極的に行っている区との取組と他の区での展開が必要となります。 ③ 高齢者数に対する検査可能人数が少ないため、身近な場所により多くの市民に検査を受けていただける実施手法を検討する必要があります ④ 既存の2センターを含めた、4センターでの連携体制構築の検討が必要です。 ⑤ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、受講者数が減少しています。 ⑥ 様々な機会を捉えた広報の実施が必要です。 ⑦ 地域での既存の取組を活用したチームオレンジの仕組みの検討が必要です。 ⑧ 様々な機会を捉えた広報の実施が必要です。		
取組の方向性	① 普及啓発等の取組にオンラインの活用を進めて行きます。 ② 実施のための準備や当日の運営などを明確にすることで、広く展開していきます。 ③ 検討結果を踏まえた事業の実施します。 ④ 地域における医療・介護・相談機関等との連携体制を強化します。 ⑤ オンラインを活用した研修を実施します。 ⑥ 認知症の症状にお困りの介護者が適切に相談窓口へつながるようにしていきます。 ⑦ 検討結果を踏まえた取組を実施します。 ⑧ 相談機関だけではなく、企業に対しても積極的に広報を実施していきます。		

指標分類		数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	認知症サポーターの養成		目標	8000	8000	8000	人
		説明	地域や職域における認知症サポーター養成講座の実施を通じて認知症正しく理解し、認知症のひとを見守る認知症サポーターを養成する。	実績				
2	成果指標	認知症対応力向上のための研修の実施		目標	150	150	150	人
		説明	認知症対応力向上に向けた認知症介護指導者養成研修、認知症サポート医養成研修、フォローアップ研修、かかりつけ医研修を実施する。	実績				
3	成果指標			目標				
		説明		実績				
当該年度の達成度		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等								

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	IV		医療介護連携・認知症施策等の推進					
施策体系	施策	iii)権利擁護体制の推進						
	施策の方向性	・本市成年後見制度利用促進計画を策定し、本人の意思決定支援や身上保護を重視した支援体制の構築をめざします。						
取組状況	高齢者の権利擁護の取組	・川崎市成年後見制度利用促進計画に基づく中核機関(川崎市成年後見支援センター)の取組の推進						
		・成年後見制度の普及啓発、親族向け・関係機関向け研修の開催						
		・中核機関職員や専門職の派遣等による相談支援の実施						
		・成年後見人等の受任調整や市民後見人の養成等の実施						
	高齢者虐待防止の取組	・市職員への虐待対応研修、事例検討会の開催及び弁護士等による相談支援事業の実施						
取組目標	後見等開始の申立費用や成年後見人等への報酬負担が困難な方に対して助成を行うほか、成年後見制度に関する研修会やシンポジウムの開催、市民後見人の養成や活動支援、高齢者等の虐待防止に向けた取組などを推進し、権利擁護に取り組めます。							
取組目標に対する課題	・成年後見制度に関する認知度が低い。 ・参加者数が少ない研修もあるため、より参加しやすいように開催方法等を検討する必要があります。							
取組の方向性	・成年後見支援センターにおいて、相談業務や、市民向け・関係機関向け研修等を効果的に実施していくことで、制度の認知度向上を図ります。 ・検討結果を踏まえた取組の実施							

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	成年後見制度の普及啓発	目標	1	1	1	回
		説明	成年後見制度の関する普及啓発を行うためにシンポジウムを実施する。	実績			
2	成果指標	市民向け・関係機関向け研修の開催	目標	4	4	4	回
		説明	親族や関係機関向けに成年後見制度に関する研修の実施する。	実績			
3	成果指標	市職員等への研修	目標	2	2	2	回
		説明	市職員向けに虐待対応研修・事例検討会の実施する	実績			

当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
取組内容の実績等	

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	V	高齢者の多様な居住環境の実現					
施策体系	施策	i)高齢者の生活の基盤となる住まいの安定確保					
	施策目標	・高齢者の居住ニーズや地域特性に応じたサービス付き高齢者向け住宅の供給促進を図ります。 ・相談窓口のより効果的な体制を構築するとともに、住まいや住まい方の選択や決定を支援するツールの作成や情報発信を行います。					
取組状況	一般住宅での継続居住に関する取組	・住宅のバリアフリー化等の環境整備の支援 ・自宅、地域での生活継続に向けたサービス・支援					
	高齢者向け住宅・施設に関する取組	・高齢者向け住まい、重度者向け住まいの種類 ・円滑な住み替え支援					
	・高齢者が住み慣れた自宅で、できる限り長く居住できるように、高齢者の居住のニーズを踏まえ、バリアフリー化や住宅改修、断熱化など住宅の良質化の支援を行うとともに、自宅・地域での生活継続に向けたサービスの支援の充実を図ります(詳細は、取組Ⅲ「利用者本位のサービスの提供」を参照)。 ・高齢者が安心して暮らせる住まいの確保と住み替えの円滑化に向けた取組を進めます。そして、介護が必要になったときでも、必要な介護サービスなどを選択して、住み慣れた地域で暮らせるよう支援します。また、効果的かつ総合的な相談窓口体制を構築するとともに、住まいや住まい方の選択や決定を支援するツールの作成や情報発信を行います。						
	・中重度の要介護高齢者の在宅生活を支えるため、地域密着型サービスの取組強化について、地域バランスを考慮した整備の検討が必要であり、単一の事業所としては採算性に課題が生じている(詳細は、取組Ⅲ「利用者本位のサービスの提供」を参照)。 ・サービス付き高齢者住宅について、適正な立地への建設や医療・介護サービスの提供等がより一層求められている。また、狭い住宅や入居者の費用負担の大きい住宅の供給実績が多くなっていることから、高齢者の居住ニーズを踏まえた多様な住宅供給の誘導が必要となっています。						
	・単一の事業所としては採算性に課題があることから、他施設機能への併設誘導のほか、市有地を活用した整備を検討するなど整備促進に向けた取組を進めます(詳細は、取組Ⅲ「利用者本位のサービスの提供」を参照)。 ・一定の質が確保された賃貸住宅に医療・介護や生活支援サービス等が適切に供給されるよう誘導します。						
	・交通利便性や需給バランス、地域環境等を考慮した立地誘導を図るとともに、住み替え促進に向けた広めの住宅や、地域福祉拠点となる医療や介護サービスとの連携を強化した住宅の供給を誘導します。 ・地域の居住ニーズに対応した住宅が適切に供給されるよう誘導します。。						
指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	サービス付き高齢者向け住宅	目標	2,067	2,168	2,269	戸
	説明	これまでの実績の累計	実績				
2	成果指標	高齢者向け優良賃貸住宅	目標	事業継続			戸
	説明		実績				
3	成果指標	シルバーハウジング	目標	事業継続			戸
	説明		実績				
4	成果指標	福祉住宅	目標	事業継続			戸
	説明		実績				
5	成果指標	軽費老人ホーム	目標	事業継続			戸
	説明		実績				
6	成果指標	養護老人ホーム	目標	事業継続			戸
	説明		実績				
当該年度の達成度		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等							

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	V	高齢者の多様な居住環境の実現					
施策体系	施策	ii)在宅生活が困難な方のための介護サービス基盤の整備					
	施策の方向性	・特別養護老人ホームに、医療的ケアが必要な要介護高齢者、高齢障害者等の受入れを推進するとともに、老朽化施設の再編整備に取り組みます。					
		・介護付有料老人ホームについて、地域医療介護総合確保基金の活用を検討を進めます。					
		・慢性期の医療・介護ニーズへの対応のため、介護医療院の整備を進めます。					
取組状況	介護保険施設等の整備、既存施設の老朽化への対応	・医療的ケアが必要な要介護高齢者、高齢障害者等の受入れの推進					
		・長寿命化の取組み推進					
	地域医療介護総合確保基金の活用を検討	・老朽化施設の建替え支援					
		・介護付き有料老人ホームの整備における地域医療介護総合確保基金の活用					
取組目標	介護医療院の整備	の検討					
		・慢性期の医療・介護ニーズに対応した、介護医療院の整備					
	介護離職ゼロに向けた取組、災害及び感染症に対する取組	・仕事と介護が両立できる環境の整備					
		・働き方改革及び職場環境改善の支援					
取組目標に対する課題	取組	・災害及び感染症に対する備えに向けた取組					
		・特別養護老人ホームに、医療的ケアが必要な要介護高齢者、高齢障害者等の受入れを推進するとともに、老朽化施設の再編整備に取り組みます。					
	取組	・介護付き有料老人ホームについて、地域医療介護総合確保基金の活用を検討を進めます。					
		・慢性期の医療・介護ニーズへの対応のため、介護医療院の整備を進めます。					
取組の方向性	取組	・介護離職ゼロに向けた取組、災害及び感染症に対する取組を進めます。					
		・医療的ケアが必要な要介護高齢者等の受け入れ状況の把握					
	取組	・大規模修繕補助制度の実行性の把握					
		・建替えが必要な施設に対する支援の検討					
取組の方向性	取組	・介護付き有料老人ホームの整備状況等を踏まえた事業者の選定時における条件の設定(医療的ケアの充実等)					
		・介護療養型医療施設の転換先の一つとされており、令和5年度末に廃止期限が到来					
	取組	・災害及び感染症に対する取組					
		・BCPについては、対象となる事業所が約4,000事業所あるため、定期的な実地指導以外の効率的な確認手法の検討が必要					
取組の方向性	取組	・対象となる施設に対する受け入れ状況の把握を目的とした調査の実施					
		・大規模修繕実施法人に対するヒアリングやアンケート等による要望調査の実施及び結果を踏まえた見直し					
	取組	・原則、大規模修繕補助制度の活用による長寿命化を図る					
		・介護付き有料老人ホームの運営実態の把握及び募集要項の整備					
取組の方向性	取組	・調整先の候補法人となっている「有馬病院」、「柿生記念病院」、「川崎田園都市病院」との整備に向けた調整					
		・災害及び感染症に対する取組					
	取組	・BCP、避難訓練については、実地指導の他、集団指導講習会での周知や作成状況の報告等を検討					
指標分類		数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明	目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1	成果指標	特別養護老人ホームの入居定員数(累計)	目標	5,081	5,281	5,281	床
	説明	これまでに整備した床数の累計	実績				
2	成果指標	介護老人保健施設の入所定員数(累計)	目標	2,281	2,281	2,431	床
	説明	これまでに整備した床数の累計	実績				
3	成果指標	介護療養型医療施設の入所定員数(累計)	目標	223	223	0	床
	説明	これまでに整備した床数の累計	実績				
4	成果指標	介護医療院の入所定員数(累計)	目標	40	40	263	床
	説明	これまでに整備した床数の累計	実績				

5	成果指標	認知症高齢者グループホームの入居定員数(累計)		目標	2,379	2,433	2,487	人
		説明	これまでに整備した床数の累計	実績				
6	成果指標	介護付有料老人ホームの入居定員数(累計)		目標	7,584	7,764	7,944	人
		説明	これまでに整備した床数の累計	実績				
7	成果指標	住宅型有料老人ホームの入居定員数(累計)		目標	3,268	3,460	3,652	人
		説明	これまでに整備した床数の累計	実績				
当該年度の達成度		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等								

令和3年度 第8期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗管理シート

取組名	V	高齢者の多様な居住環境の実現					
施策体系	施策	iii)居住の安定確保に向けた住宅セーフティネットの構築					
	施策の方向性	・居住支援協議会を適切に運営して、取組等について情報発信するとともに、住宅確保要配慮者への支援のあり方を検討します。 ・市有地を活用するなどして、地域密着型サービス等の整備を促進します。					
取組状況	住宅セーフティネットの充実	・川崎市居住支援協議会の適切な運営					
		・川崎市居住支援制度による支援					
		・市営住宅における高齢者に関する取組					
取組目標	・不動産関係団体や各種支援団体等と連携して、居住支援協議会を適切に運営し、借主・貸主双方を支援する取組を行います。 ・居住支援制度の活用による住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援を行います。 ・市営住宅の建替えに伴うユニバーサルデザイン仕様への変更や、社会福祉施設等の併設を推進します。						
取組目標に対する課題	・住宅確保要配慮者受入れに関する家主等の不安軽減に向けた取組が必要です。 ・安定した居住の確保に向けて、入居支援と生活支援の充実が必要となるため、住宅と福祉の更なる連携強化や多様な主体との連携が必要です。 ・高齢年住宅はバリアフリー性能が低い住宅が多く、居住水準が低くなっています。						
取組の方向性	・家主・不動産事業者の不安軽減に資する取組の推進 ・住宅と福祉等が連携した入居支援体制・生活支援体制の充実 ・高齢者等に必要居住水準の確保に向けた市営住宅の建替え等の推進						

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標と指標の説明	目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	単位
1 活動指標	居住支援協議会の会議開催数	目標	5	12	12	回
	説明 不動産団体や福祉関連団体等の多様な主体との連携によるプラントホーム「居住支援協議会」での協議(総会、専門部会等)により、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の実現に向けた取り組みを行っています。	実績				
2 成果指標		目標				
	説明	実績				
3 成果指標		目標				
	説明	実績				

当該年度の達成度	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	
取組内容の実績等		